

町有観光施設の今後の方針に係る意見書の内容

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
1		だいくらスキー場	町で4つのスキー場を継続させていくことは厳しいと思いますが、工夫もなく廃止の決断をされることはこの町に対して住み続けていく未来が不安です。スキー場をなくすリスクをどれだけお考えだったか。これからの子供たちが町を作っていく未来に何を残せるのか、だいくらスキー場を残すための話し合いをオープンに行っていただきたいです。6年後に「廃止」という結論は変わっていません。どうすれば「継続」するかを考えていくことが皆さんの仕事ではないでしょうか。本心はだいくらだけは本当に残ってほしいです。
2	5 ページ	だいくらスキー場	40年のスキー場の果たした役割はどうだったのか？スキーをやったことのない子供達が小学校、中学校のスキー教室でスキーを覚え、大人になって都会に出てからも懐かしく思い出すことだろう。教育長にお伺いいたします。素案通りに廃止になった場合、小中学校のスキー教室はやめるのか？田島町内の小中学校はたかつえ、南郷スキー場に行くのか？冬の学校教育のスキーの果たしている役割は大きいと思うが、どう考えても南郷残してだいくらを廃止はおかしいと思う。若松から報徳保育園、下郷の小中学校もだいくらにきてスキーを学んでいます。雪国に生まれ、冬のスポーツを学ぶ、教育長は町の方針に反対してほしい、それが子供達への思いやりだと思う!!
2		山村道場	まず、町のホームページトップにスキーヤーが出てきますが、この人だれですか？せっかく町内には、県でトップの競技スキーヤーがいるのを知らないのですか？どこの誰だかわからない人を使わないで下さい。スキー場には応援ノートが置いてあります。私も読みましたが、読んでいるうちに涙がでてきました。スキー場にほとんど来た事がない町の幹部には是非読んでもらいたと思います。 次に山村道場の件ですが、昨年シルバー人材で山村道場周辺の草刈りを頼まれ、行ってきました。自分も何年か前の県植樹祭以来でした。見るも無残になっておりました。草ぼうぼう、どこに植樹したのか分からない状況でした。以前からあったグラウンドは猪がおっくり返しボコボコでした。県からの要請があってした事かもしれませんが、町は後の保全管理を考えていたのでしょうか？せっかくキャンプ場を作っても中途半端、やり方次第で、もっとお客さんが来ると思います。指定管理で丸投げ、採算取れないから廃止、誰が考えてもおかしい事です。
3		だいくらスキー場	スキー場問題で若者が結束し立ち上がった力、将来の町作りに希望を持ちました。だいくらでもっと何か出来るのか考えていけばと思います。例えば南会津は星空がきれいなところです。それを何とか活かして客を呼び込む事などを考えてみてはと思います。
4		だいくらスキー場	私の息子もだいくらスキー場でスキーをさせて頂いており、スキー場の存続を切に願っております。息子は集団行動が苦手ですが、スキーだけは大好きでして、そしてスキーの仲間も大好きで、スキー場で子育てをさせて頂いているなど、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。町では子育て世帯に力を入れて頂いておりますが、私たちの子育てはスキーを通しての子育てなんです。スノースポーツを通して子育てをしている地域の大人達もたくさんいると思いますが、その訴えを自分ごととして受け止めてくれるのは誰ですか？また、私たちのような子育て世代との会話の機会を設けようとしていますか？

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
5	1～3ページ	評価結果 南郷スキー場 町の姿勢	若手住民が町の方針に対して関心を持ち活動し考えていることを発信している姿に敬意を持ちます。町としても多くの民意を大切にしながら方向性を導き出すとのこと。まさに、町長の掲げる活力ある町づくりの原点でないでしょうか。 タウンミーティングで質問があった、診断受託者の評価活動に対しての実績に対する評価は高く信頼できるのかについては、他団体への評価実績で好結果をもたらしていることから依頼したのだと思うので、外部評価をそこに依頼した経緯を先に説明するべきかと考えます。 詳しいことは理解していませんが、「収益性は見込めないものの、地域住民への福祉・子育て・教育等での効果が期待できる施設は、目的、機能を再定義するなど観光施設の位置づけから除外する。」の文面が私には強く目にとまりました。 外部評価を高く信頼できることを前提に、そのことを大きく変える判断を示すとき、又は複数を比較するときは、より一層の労力を必要としますが、今回のようなタウンミーティングを開催する等、できるだけ多くの民意を聞くことも必要になってきます。そのことで新しい発見があるし、時間をかけ実証見聞しながら議論することで町民の多くが納得に近づけ、町にとっての将来の方向性が見えてくると考えます。 私も、ほかの方の質問でも出たように農業の振興及び定住促進の拠点としての位置づけから南郷スキー場を継続するという判断には現時点では疑問を持ちます。ほかの施設についてはあまり意見を聞かれませんが、少数でも疑問に思う町民がいたら丁寧に説明することも必要かと思います。 新聞に掲載されたこともあります。これだけ町民が関心を持つことは素晴らしいことです。なかなか大変な時期かと思われますが、町民参加型社会形成のチャンスととらえ前進していきましょう。
6	3ページ	町の姿勢	2月13日のタウンミーティングへ参加しました。資料3ページ、町有観光施設別の方針一覧に継続や廃止等の記載がありますが、各施設のメリット・デメリットを検証しているのか、又、存続廃止による地域や町への影響を各施設ごとにシュミレーション（収支、雇用、教育、地域活性、近隣施設(他スキー場現況)、町外からの流入状況）を実施し、把握・分析しているのか全く聞こえて来ませんでした。 町の大きな舵取り役なのですから、町民へ納得の行く答弁をしてください。特に、南郷スキー場とだいくらスキー場の評価については支離滅裂、判断のロジックが破綻しています。
6	3ページ	町の姿勢	2月13日のタウンミーティングへ出席しました。評価についてのエビデンスが示されていない事に驚きました。廃止した場合のマイナス状況とプラス状況、継続した場合のマイナス状況とプラス状況をとことんシュミレーションして町民へ説明する必要があります。将来の南会津町を支える子供達の為に、だいくらスキー場を存続して下さい。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
7		会津山村道場	施設運営の今後について意見させていただきます。2010年から2019年まで会津山村道場を活用した音楽フェス「大宴会in南会津」を開催してきました。2018年には1000名の集客をし、キャンプサイトもコテージも満室になりました。会津山村道場は駐車場こそ少ないものの、こういったイベントを開催するにはもっとも適した施設です。ですが、この施設の魅力を伝えられないまま廃止の方針との事でとても残念に思います。本音で言えば、指定管理者次第では十分集客を増やす事は可能でしょう。例えば茨城県大子町にある町営のキャンプ場グリーンヴィラ大子では管理者自らが頻繁にイベントを企画、SNSの更新も多頻度で、集客力のある人気のキャンプ場となっています。以前指定管理者募集の際、NPO法人が名乗り出たことがあると思います。不選定になった理由は分かりませんが、ああいった企画力と実行力のある団体が主導してこそこの施設だと思います。現状はそのあたりが難しいのかなと思います。SNSで誰でもどこにでも情報発信が出来る時代はコンテンツ次第で集客力を伸ばす事は可能です。ひとまず、今年も6年ぶりに大宴会in南会津を開催する運びとなりました。今年は6/14(土)に開催します。集客目標は700人で、これだけの人数が集まればキャンプサイト、コテージは満室になるでしょう。そして、町内の宿泊施設や飲食店や観光施設への波及効果も期待できますし、鉄道の利用者も増えます。今後このようなイベントを開催出来る場所が無くなってしまふ事を危惧しています。町内になれば町外でという事も視野に入れています。廃止後、別な方法で活用とありましたのでまだ少し希望はあるのかなと思っていますが、私の意見も参考にしていただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。
7		だいくらスキー場	①中小企業診断士というのは企業の経営診断をする機関だという事ですので、だいくら、たかつえ、南郷に関しては施設ごとの評価ではなく第三セクターの評価という事になると思うのですがどうなのでしょう。 ②冬季の観光施設としてだいくらスキー場は田島地域への経済波及効果が大きいはずですが。ただでさえ冬季は町への観光客が大幅に減るというデータがありますので、ここから更に観光客が減ってしまいますと田島地域の飲食店や宿泊施設にとっては大きな痛手となる事は間違いないでしょう。※データ参照元：福島県南会津地方振興局「令和6年度 南会津地域観光客実態WEB調査業務（株式会社レグリープ）」 ③南会津町公式サイト、2022年9月27日の投稿において「本町においても関係人口の創出・拡大に取り組んでいます。」との一文がありますが、関係・交流を受け入れる人口が最も多い田島地域のだいくらスキー場の閉鎖はこの一文に反する判断ではないのでしょうか。 最後になりますが、「この町には何も無い」という話を聞く事がありますが、だいくらスキー場が閉鎖してしまつては本当に何も無い、何も誇れるものがない町になってしまうと危惧しています。行政と民間が力を合わせて衰退に歯止めを掛け、魅力的な町を作っていきたいと私は思います。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
8		道の駅たじま	○野菜・山菜等の販売環境の悪さ ・真夏の30度を超える気温のときでも、外で販売しているため、1日、早ければ半日で野菜で悪くなりすぐに廃棄になる。道の駅たじままでの1日の野菜の廃棄量は業務用ゴミ袋90リットルの袋3～4袋出ている。私自身、朝出荷したものがその日の夕方に廃棄（約2万円分）されるなど、品質管理の問題が大きい。 ・露天販売で野菜、山菜を販売する上で品物の盗難が毎年起きている。春先から秋にかけて数百円の時もあれば、高い時で数千円の品物の盗難が起きている。また、この事を当時の道の駅たじま駅長に報告したところ、笑いながら「仕方がないですね～」と、謝罪等も無く終わった。 ○道の駅販売員（従業員）の販売意欲の低さ ・商品説明ポップを出さない・複数人で建物裏で、複数回の喫煙休憩・手直しすればまだ売れる野菜等の、即廃棄（手直しがめんどくさい等の理由）・品物（野菜等）を商品棚に並べない、雨が降って雨が当たっても何もしない。・生産者に対しての「こんなもの売れない」などの厳しい言い方、実際に従業員の態度のせいで組合員を脱退した方、出品をやめた方が複数人いる。 販売環境に関しては、修繕費等の関係からすぐに改善するのは難しいのは分かるが、盗難を防いだり、廃棄を少なくするなど、従業員の努力次第で改善できる部分が多くあると思う。今のこの状況で、はたして地元の安定した野菜、山菜等の販売所と言っていいのだろうか。廃棄量や、盗難については町としてしっかり認識しているのか。町として、道の駅たじまの駅長、および従業員に指導を入れてもいいのではないのだろうか。ただえさえ高齢化が進み、地元農家、組合員が少なくなってきた近年、今の組合員およびその品物をもっと大切に扱っていかないと、利益などこれから上がっていくはずもない。
9		だいくらスキー場	指定管理者への実地調査結果、指導内容に対する企業努力がどうなっているのか？ 外部調査結果を覆している、南郷スキー場とゴルフ場に関して。継続判断したこと責任は、誰が取るのか？かなり先行きの危ない2施設であることは外部調査からも明らか。スキー人口減少は、日本だけで考えていては無意味。インバウンドを見込めば、検討する必要はない。インバウンドは大内宿と町の駅まで来ていることが分かっていて、田島地区からレジャー施設をなくす選択をする意味は？また若松の学校では校内のスキー教室が雪不足で難しくなっており、田島でのスキー教室を検討している学校も出始めている。それは署名活動の中で分かってきたことであるため、集客が見込める可能性がある。若松方面から館岩地区には行かない。ゴルフ人口はスキー人口の比にならないくらい少なく、減少率もしかり。見てから、比較しているのか？温暖化による雪不足を考えれば、標高も高くなく南向き斜面である南郷スキー場に未来はないが、どうするのか？ 町長（議員も含め）の公約では、「町の子のため・子育て世帯のために努力する」とあった。南会津高校も田島地区になった今、未就学児から高校生までが1番利用しているのが16施設の中で『だいくらスキー場』となった。公約として掲げている子育て環境の整備という観点から、今回の観光施設の方針はどのように考えられたのか？公金は、子のために使っていただきたい。子育てのために公金を使っている自治体では、人口増加している結果が出始めているが、南会津町ではどのように考えているのか？人口流出する可能性があり、町は死ぬ。結局何も維持できないことは明らかだが、それで良いのか？企業でも自治体でも、経費削減だけでは衰退していただけだという結果が数多出ている。今回の方針がそれをなぞっているとしか思えないが、経済効果の結果をどのようにみた判断なのか？

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
10		観光施設全体	今回の町の素案についてですが、町長説明の通り町有施設の整理をすることにより、財政の使い道が柔軟になるのであれば素晴らしい事だと思います。特に南会津町の少子化は喫緊の課題です。今のままの消極的に思える子育て政策、移住者支援等を財政の縛りによって続けていくのであれば必ず、人に選ばれない地域になり消滅するだけだと思います。是非整理すべきは整理して、子供を産み育てたい町、年配になっても安心して暮らせる町、ゆりかごからまさに墓場まで住みたくなる町になるようお金を使ってください。特に一つの町での4つのスキー場保有・運営は異常です。魅力があり、持続的な採算が見込める施設なら民間が必ず手を上げるはずです。柔軟な対応を望みこそすれ、町営である理由はありません。決断に批判はついてまわりますが、それこそ将来の南会津町のために是非整理をすべきだと思います。
11		だいくらスキー場	1番近いしコースも充実しているので無くさないで欲しい。
12		だいくらスキー場	1番近いスキー場が無くなったら遠くに行くのが大変だから。
13		だいくらスキー場	近くにスキー場があってほしいから。
14		だいくらスキー場	近くにスキー場が無くなると困るから。
15		だいくらスキー場	だいくらスキー場をなくしてしまったら、旧田島町の観光施設はどこですか？だいくらスキー場があるから冬の観光客がきてくれるのではないのでしょうか。また、子供達に近場でスキーできる場を存続してください。だいくらスキー場の食堂のごはんは他のスキー場より美味しいと評判いいですよ。
16		指定管理者	この度の町民説明会に参加した上で感じたことを意見させていただきます。該当施設の上層部、現場の従業員、役場関係者を交えての施設ごとに説明会、意見交換会を設けていただきたいです。私は弊社上層部の考えだけでは限界があると常日頃から感じており、町で暮らし該当施設で働く我々末端の人間にしかない考えや意見があります。経営判断や町政にも良い効果が得られると考えています。各施設で働く従業員こそが問題の当事者であり、責任のある立場だと自覚する機会にもなります。我々町民の暮らしに直結する問題であり、町政と指定管理業者とのより綿密な連携が事態を好転させる要因の一つであると考えます。町政だけでなく、指定管理業者だけでなく、地域に住む従業員こそがキーパーソンです。何卒ご検討お願いいたします。
17		町の姿勢 第三セクター	1 観光施設の縮小についての説明について 行政側で作ったデータは良く作られていると思いますが、住民側としては専門用語等で作成されている内容がどの程度理解されたか疑問です。住民の側に理解できる文章や用語を作ったらよかったと思います。 2 指定管理を受ける事業者について 第三セクターについては「時代錯誤」もいいところで「フジテレビ化」していませんか。何十年も同じ人が執行しているので進捗がありません。自分の保身しか考えてないのでは。自分で考えることができないのならば社員や行政から知恵を出してもらって指定管理料の削減をするよう行政の担当部局は指導してください。指定管理料を当てにして営業努力をしないようでは先は真っ暗です。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
18		だいくらスキー場	未来につながなどと今皆んな存続と動いていますが、家の近くで雪遊びはできます。年1.2回のスキーだったら、南郷やたかつえスキー場があります。スキー場で働く人やスキーやってる子にとっては必死なのかもしれませんが、その他の人たちにとっては、正直なくなっていいです。未来の子供を考えるのであれば、存続しないでもいいです。維持費だけでも数千万ですよ？そのお金を、子供のために皆んなに平等に使って欲しいです。少しでも負担を減らすようにでもなんでも、未来の子供のために少しでも多く使ってほしいです。子供手当でもいいですし、その維持費の数千万あれば子供が遊べる屋内施設も作れたりするのではないのでしょうか？きっとたくさんの方が反対して大変だと思いますが、変化も大事です。負けないでください。
19		だいくらスキー場	昨年度の4月に千葉市から家族4人で田島に転居して来ました。その理由の一つがだいくらスキー場です。だいくらスキー場は安全面、施設面から考えて、素晴らしい教育施設であり、子育てに有益だと考えています。この冬には千葉市から友達やその家族が遊びにきましたが、ハンターマウンテンに行くより、雪質、混雑具合、料金などの条件がとてもよく、大満足だと言っていました。都会からの距離は遠いですが、それを補ってあまりあるというのがその方たちの感想です。アピールの仕方によって、もっと来客数が増えると思います。ぜひだいくらスキー場の閉鎖方針を転換してください。
20		だいくらスキー場	やはり町の活性化のためにも、子供達のためにもだいくらスキー場を存続させて欲しいと思います。
21		だいくらスキー場	だいくらスキー場は、町の方針と公費の問題で閉鎖する方向で協議を進めるとの表記だが、たかつえスキー場は継続するためにはどうするかが表記されており、だいくらスキー場のページでは建設的でプラスになるようなことは一切書かれていない。公費削減だけでなく、継続するにはどうしたら良いか明記して頂きたい。また実践でやってみて何も改善が見られない場合は、閉鎖も仕方がないのだが、やれることを何も努力もしないで手放すのは本当にもったいないし、この町の未来が不安である。今こそ本気になって集客し売上を伸ばす工夫をし経費削減をしないと！だいくらを筆頭に色々な施設が順番に無くなっていくと、本当にこの町は終わるし、子育てどころではなくなる。そして、もっとふるさと納税でもそういった町が直面している悩みをアップして頂き、寄付を募った方が良くと思います。力になりたい人はたくさんいるはずです！共に頑張りましょう！！
22		だいくらスキー場	先日の住民説明会開催ありがとうございます。子どもと参加させていただきました。だいくらスキー場は、身近に自然を感じられる、南会津の冬を体感できるととても良い場所だと感じております。立地の良さもちろんあります。南会津の冬の良いところは？と突然尋ねられたらどうでしょうか？スキー場をどんどん閉鎖させていくと、せっかくの良さも半減していくのではないのでしょうか？4つある！と2つある！では言葉の重みも違うのではないのでしょうか？南会津町と検索すると、9割が自然に囲まれている。と書かれています。その自然を財政の為に蔑ろにするのは、違うのではないのでしょうか？今、少子高齢化がかなり進んでいると思います。その中でも子育て世代は南会津で生活していきたいと思っているはず。自然あふれる町で、身近に自然にふれあい、自然を自慢できる人に成長してほしい。そう感じているはずです。私もそうです。未来ある子どもたちのためにも、閉鎖、廃止ではなく、いかにどう工夫して存続していくかを町民と共に考えていかねばならないと感じます。「存続のための」話し合う機会を設けてください。きっとさまざまな世代が、それぞれの工夫を凝らして力になるはずです。若者、SNS得意です。発信力があります。若い世代の声にも耳を傾け、力になってください。財政が厳しいのは承知の上ですが、それを言ってしまうとだいくらだけの問題ではありません。子どもたちがスキー場で楽しく雪遊び、スキー、スノーボードをしている姿を見てください。美味しい食堂のご飯を食べているところを見てください。魅力ある自然を大切にしていきたいと思います。よろしくお願い致します。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
23		南郷スキー場	私は2025年に新規就農にむけて、2024年に南会津町に移住してきたものです。南郷スキー場について、診断受託者による資料では「2024－2025年のシーズン次第では閉鎖すべき」とあるが、町長は「南郷トマト農家や地域貢献の観点から総合的に判断し継続とした」とおっしゃっていた。この点について、新規就農をする者の観点から意見を申し上げます。 1、IターンUターンに南郷スキー場はほとんど影響がない 私が南会津町で新規就農をするにあたって考えたことは、「安定した収入を得られるかどうか」です。南郷トマトは夫婦二人以上の労働力が確保できる状況が必要と言われており、「南郷スキー場が好きだから南郷で就農します」という状況は到底考えられる状況ではありません。南郷スキー場で冬に楽しみたいのであれば、近隣県に居住し冬の間だけ車で来ればいいからです。また、南郷トマトでなくても、田島地域や比較的生活しやすい町中に居住し、仕事をして南郷スキー場に行くこともできます。また、南郷トマトの新規就農者が南郷に多いのは、先輩農家が南郷に多く、研修期間が2年間あるため、近くに住みたいと考えるからです。また、気候がトマトにあっているという点もあります。そのため、南郷トマトをするために南郷に居住するのであって、南郷スキー場がIターンUターンする理由にはならないと考えます。 2、冬の仕事は南郷スキー場以外にもある 脱サラして新規就農する人間にとって、南郷トマトは非常に魅力的に感じられます。繁忙期の夏は非常に大変な労働が必要ですが、安定した収入が見込めます。冬の仕事について考えると、スキー場や花泉酒造、除雪オペレーター、高齢者世帯の除雪、屋根の雪下ろしなど様々な仕事があり、除雪オペレーターは不足しており、職人になるためには時間がかかることから育成が急務の状態です。そのため、むしろ南郷スキー場で働いている方に除雪オペレーターの仕事をしていただけるように話をする方が全体的に人手不足を解決できる可能性があります。南郷にはスキー場しか働く場所がないというのは知見不足であり、南郷スキー場の存続より解決しなければいけない課題があるのが実情です。以上のことから、南郷スキー場がIターンUターンに貢献しているということは成り立たないと考えます。南郷トマトの知名度が低い頃に、南郷スキー場で新規就農を決意した方は実際におられると思いますが、現在の南郷トマトは知名度が高く、収入も安定する品目になっているため、南郷スキー場からの新規就農者に頼るフェーズではなくなっております。過去に地域貢献した実績を評価し、未来の負債を無視する選択をされるのも最終的には町長の判断になると思います。選挙で選ばれた方が決断するのが民主主義ですので結果は受け入れたいと思いますが、納得がいかない、筋の通らない決断をされた際には、投票で行動していきたいと思います。
24		だいくらスキー場	私は農業を生業としています。町の方針で2カ所のスキー場を閉鎖すると公言しました。スキー場閉鎖騒動により、以前から第三セクターの責任の無さを感じてた一人です。町の助成金ありの会社から独立採算制をしっかりできる自立の会社にするチャンスだと考えます。そこで第三セクターの幹部人員の天下りを止め、人員総入れ替えが急務だと思います。まず、道の駅の充実が取り組みやすいと思います。新鮮野菜をしっかりと冷蔵庫に入れ南会津の気候（寒暖の差）と新鮮でコクのある農産物を南会津の最大限の売りとしたり、上手な売り子の指導を徹底する。スキー場に関して、台鞍と高畑の2カ所を閉鎖しても、すぐに高杖、南郷の2カ所に掛る修繕費などが先の2カ所を超える修繕費が掛かり、残したスキー場を閉鎖の危機になると思います。（理由として高杖のロッジの老朽化が激しい、南郷もしかり、聞くとところによると、南郷では保持点検や修理に必要な道具が無く台鞍から道具を持って行って保持点検をしたと聞きます。何より、南郷、高杖、台鞍、高畑の順でスキー場が出来たので老朽化の順番がおのずと見えます。）私もスキーをしますが、だいくらの雪質、圧雪、ご飯のおいしさ、リフト係の親切な事など一番は道路状況の良さはほかのスキー場には無いと思います。もう一度見直しないとこの町の未来は皆無になってしまい、今以上に人口減少や町長が危惧する町が消滅するスピードをもっと早めるような気がします！！

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
25		評価結果 町の姿勢 だいくらスキー場	合併してから合併特例債などもあり、無駄な支出（星の郷ホテル）だけをして、何故800万かけて診断受託者に評価を今更委託したのか？（町職員が考えられないの？）職員、行政としての町の将来を考えれば合併後からなぜ大きな経常経費のかかる観光施設の見直しをしなかったのか。住民説明にしても1年もなく、急すぎると言われても仕方ない。なぜ5年しか猶予がないのか？「議会に説明すればよい」と言う方針が見えて、住民に対する説明、意見聴取が足りず、何のための町なのか不明な町づくりと思える。住民の要望、一緒に町作りを考える仕組みがあまりにもなさすぎる。意見を言える場をたくさんつくってほしい。 だいくらスキー場は南会津らしい子育ての場です。財政の見直しは人件費削減（職員減らしてもいい）でもできるのでは？全体として必要ない支出がたくさんある、何となく補助金をつづける事業を止めてほしい。田島は駅から歩いても祇園会館もなくなり、見て歩ける田島のPRとなる施設がない。だいくらスキー場は努力すればもっと良くなる！田島といえはだいくらしか集客できる施設はない。
25		星の郷ホテル たかつえスキー場 だいくらスキー場 南郷スキー場 ステーションプラザ 町の駅	星の郷ホテルとたかつえスキー場は、経常経費がかかりすぎる。町で支出するより民間へ売却した方がいい。 だいくらスキー場は、田島地区の唯一の収入があり、ファンがいて、リピーターが多い。南会津町の人口比率を考えても今後コンパクトシティ化すると想定しても田島地区が中心となることは必須。町の自然を活かした町づくりをするとしたらスキー場があることが、移住誘客にもPRになる。指定管理者の努力等も足りず、接客もいいとは言えない所もあるかもしれないが、施設を廃止するのはマイナスになってしまう。運営に関してはまだまだ改善する余地があり、立地条件を考えても南会津町として残すべきスキー場だと思います。冬に孫、子が来るとよろこんでいる、町の人々の気持ちを大事にしてほしい。 南郷スキー場は公共交通がないので、インバウンド来てない。将来人口推移、子育て世帯がどれだけ残ると見込んでいるのか？赤字が改善されることがないのに税金を投入することには反対。田島にも農業の従事者がいる。把握していないのか？ ステーションプラザとふるさと物産館は指定管理者を変更して、重要観光拠点施設として駅・鉄道利用者に利用してもらえるように活用してほしい。今の運営では人は来ない。
26		だいくらスキー場	小さい頃からお世話になってるスキー場。自分の子供孫世代まで続けてほしい。なくなってほしくないです。
27		だいくらスキー場	転勤があり田島二年目です。子どもが小学生、未就学児といますが、学校のスキー教室を通して初めてスキーに取り組みました。初心者の子どもが始めやすいスキー場だと思います。未就学児もエスカレーターを利用しスキーを楽しんでいます。親としても だいくらスキー場は連れていきやすいです。派手なスキー場ではなく ロッジのような温もりを感じられる落ち着いたスキー場です。田島にいる限り子どもが望むだけスキーに連れて行って家族でたのしみたいです。存続のために微力ですが 応援したいです。
28		だいくらスキー場	スキー場存続

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
29		だいくらスキー場	町有観光施設の今後の方針について田島エリアで開催された説明会に2回参加させていただきました。 限られた町の財政資源の中で、16の観光施設を維持し続けた場合、令和8年度から赤字に転落する点（P17）温暖化による年間降雪量の減少（P27）、およびスキー人口自体の減少（P28）これらのデータを見る限り、4つのスキー場を町の公費で維持し続けることは、将来的に不可能であると判断するのは当然だと思われます。 特に、タウンミーティングでも大きな議論となった「だいくらスキー場・南郷スキー場の存続問題」についてですが、今回配布された資料の内容では南郷スキー場を優位に位置づけることに無理があるのではないかと感じました。たかつえスキー場は、日本全体のスキー人口の減少に伴い入込数が顕著に減少しています。一方、残り3つのスキー場は、全体的な減少傾向はあるものの大きな変動はなく、それぞれ地元町民を中心に＋αの観光客によって支えられていると考えられます。実際に私自身がだいくらスキー場を訪れた際の客層を見る限り、そのように感じました。それぞれのスキー場が地元住民に愛され、またその住民によって支えられていることを考えると、「南郷スキー場は冬場のトマト農家の雇用の場であり、I・Uターン施策の重要な拠点である」という一点のみをもって優先的に存続させるという主張には納得できません。田島エリアの説明会でも指摘がありましたが、だいくらスキー場でもカスミソウ農家の方やIターンでベンションを経営している方々が冬場の収入を得ています。生活がかかった切実な問題であるにもかかわらず、南郷トマトだけに焦点を当てるのは、たとえ年間売上高や地域ブランドとして無視できない存在であったとしても、十分な理由にはなりません。
29		だいくらスキー場	初回の田島エリアのタウンミーティングで、参加者が「南会津町として誇れるものは『祇園祭・日本酒・スキー場』である」とおっしゃっていました。私自身も南会津町民として、県外から訪れる友人に薦めるとすれば、この3つが代表的なものだと考えます。しかし、「地域の誇り」という観点だけで存続の可否を決めるのは適切ではありません。なぜなら、それぞれのスキー場があるエリアごとに、それぞれの住民の「思い」があるからです。配布資料のデータを基に公平に判断するのであれば、P19の「公費負担全体の実績及び将来見込み」によると、だいくらスキー場と南郷スキー場の公費負担額はほぼ同等ですが、P22の「売上高における公費負担比率」では、だいくらスキー場：29.48%、南郷スキー場：51.04%、また、令和元年から令和5年までの売上高を比較しても、だいくらスキー場は南郷スキー場の2倍の売上を上げています。南会津町全体として周辺エリアへの経済効果を考えた場合、どちらがより大きな影響を与えているのかは明白です。冬場の雇用の場として重要であることや、スキー場への「思い」があることは、どのエリアの住民にとっても同等に大切なものです。したがって、「限られた公費をどこに投入するのが最も大きな経済効果をもたらすか」という観点で判断するのが公平ではないでしょうか。また、住民の間でさまざまな意見がある中で最も重要な点は、「スキー場を単なる観光施設としてのみ判断してよいのか」という点です。（2回目の田島エリアの説明会で参加者が意見を述べた内容にも関連します。）P1の「町方針の総括 1-(1)-③」に記載があるように、収益性は見込めなくても、地域住民の福祉・子育て・教育などに寄与する施設については、その目的・機能を再定義し、観光施設の枠組みから除外すべきです。スキー場がなくなれば、その地域の子どもたちの冬場の遊び場が失われ、室内でのゲームやネットフリックス等への依存が増加するでしょう。また、冬の田島はより魅力のない場所となり、観光客もさらに減少してしまうのではないのでしょうか。「南郷スキー場で働く人は、だいくらスキー場に通勤できないのか？」という質問もありましたが、すべての従業員を別のスキー場で雇用することは現実的に不可能です。2回目のタウンミーティングでは、長めの質問を7つ挙げられた方がいましたが、途中で議論が打ち切られてしまいました。一部のリフトについては、設備費・燃料費を考慮し、将来的に廃止することも選択肢に入れるべきでしょう。また、たかつえカントリークラブへの「セグウェイ投資」のような疑問の残る施策を行う前に、だいくらスキー場・南郷スキー場に対し、従来の公費負担は難しくとも、共存可能な経営方法を模索すべきではないのでしょうか。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
30		だいくらスキー場	南会津町の大きな観光資源であるだいくらスキー場を無くす話ばかり進み、本来は同時にあるべき代替案が無いまま進めるのはおかしいと思う。以前にも意見を出させて頂きましたが、今ある施設をもっと別の形で活用し観光人口、移住・定住等を増やして行くことが必要ではないでしょうか？私たちはこの南会津町が好きで住んでいます。この好きな町をもっと盛り上げたいと考える若者がいることを知って欲しいですし、その行動に協力していただきたい！確かに財政は厳しいのかも知れませんが、昔から大切にしてきたものを無くすというのは違うと思います。先程述べた内容と同じにはなりませんが、だいくらスキー場を冬のみ使うのではなく、季節毎に活用することで新たな観光施設になり、財政へプラスになると考えます。長くなりましたが、だいくらスキー場をどうしても無くすと言うのでしたら、その代替案を用意していただきたいです。
31		だいくらスキー場	だいくらスキー場は閉鎖しないでいただきたい。だいくらスキー場のリピーターは、だいくらの代わりにたかつえには行かないと思います。東京方面の利用者はたかつえスキー場の帰りに田島によりません。町の経済のためにも、だいくらスキー場を残したほうが良いと考えています。
32		だいくらスキー場	宿泊施設や飲食店にスノースポーツをする方が多く見られるため、だいくらスキー場閉鎖してしまうと、町民の生活に少なくとも影響が出ると考えられるのでスキー場単体の考えではなく町として考えていただきたいと思っています。
33		南郷スキー場 星の里ホテル 道の駅きらら289	南郷スキー場を[農業振興及び定住促進の拠点として継続]としていただきありがとうございます。スキー場に来る観光客にとって宿泊、温泉施設はセットでの利用になってきます。きらら289の大規模改修の時期やそれに伴う施設利用不可能時の代替え温泉施設の斡旋など上手くやらないとスキー客はワンシーズンで離れていってしまいます。せっかく南会津町まで来てくれる都会の関係人口を減らさぬ様に工夫検討をお願い致します。
34		南郷スキー場 星の郷ホテル 道の駅きらら289	南郷スキー場存続の方針、就農移住者としてとても嬉しく思います。農業振興や定住促進、また冬季雇用の重要性などご理解頂けた事に感謝申し上げます。星の郷ホテルときらら289と共に各施設が相互に補完し合う事で地元活性化にも、大きく貢献できると期待しています。きらら289の大規模改修の時期は、相互に補完し合う施設間で十分に話し合いをして頂き、観光誘客に支障がないようご尽力の程よろしくお願い致します。町民の一員として、地元活性化に向け何かお手伝い出来ることがあれば、いつでもお声がけください。
35		だいくらスキー場	約20年前に仕事の関係で田島町に来ました。そして南会津の自然や文化、人々の魅力に触れ、当地に居を構えた者です。今回のだいくらスキー場閉鎖方針に対して、非常に憂慮しています。だいくらスキー場を閉鎖することで一時的な財政負担は軽減できるでしょう。しかし失うものの方が圧倒的に多いのではないのでしょうか？交流人口の減少に伴う関係事業者や観光関連施設の廃業、冬季の雇用機会を失った方々の町外流出は容易に想像できます。今の子供達の定着もますます困難になるでしょう。長期的に見据えたとき、だいくらスキー場の閉鎖が町の衰退を加速させ、更に町の財政逼迫を招くのではないかと危惧しています。だいくらスキー場は全国大会レベルで活躍するアスリートを多数輩出している誇り高い施設でもあります。白馬や湯沢に代表されるようなスキーの聖地になれるポテンシャルを、南会津は持ち合わせていると思います。当初から閉鎖ありきで議論を進めていないのでしょうか？存続・閉鎖した場合の得るものと失うものについて、町民を巻き込んだ議論がされていないと感じます。だいくらスキー場の閉鎖には断固反対します。こんな時こそ知恵を出し合って、町有施設の今後のあるべき方針を議論すべきと考えます。
36		公共施設	休眠している様な場所も活用して人を集めましょう！最初は、地元へメリット少なくとも長期に見たらメリットでかいと考えます。会津の中心は南会津だよーって言える位になりましょうよ！電車も浅草まで通り那須町迄の道も良くなり環境は出来てきてる！年間通して観光に健康的に山登りや駒戸湿原等も整備して人を集めましょう♪
37		4 スキー場	スキー場に関しては4 スキー場ともに 財政再建のためにリセット 独立採算ができる 労働者協同組合の準備期間を設け 町民参加を促す事を進言いたします

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
38		だいくらスキー場	7問通告しておいたうち、3問については2月22日の会場で質問・提案し、返事をもらいましたが残り4問についても検討していただきたいと思います。
39		だいくらスキー場 高畑スキー場	両スキー場の利用客増に向け、インバウンド客の取り込みについて提案をします。別紙、「だいくらスキー場、高畑スキー場の利用客獲得のために」をご覧ください。また、補足資料として「会津鉄道・野岩鉄道のインバウンド取り組みについて」を添付しますので、併せてご覧ください。
40		だいくら高原スキー場	予算の関係で閉鎖の素案が出ましたが、今年度はお客様が増えている印象です。近郊のグレンデである羽鳥湖スキー場やマウントジーンズ那須の閉鎖からお客様も流れてきていると思います。南会津町の貴重な観光資源として継続いただきたいところです。
41		だいくらスキー場	雇用の場として必要です。南会津町の観光としても残してほしいです。
42		南郷スキー場 だいくらスキー場	タウンミーティングや評価報告書を拝見した際に思った事を書かせて頂きます。 年間降雪深が減少傾向にあり、スキー場運営のリスクは高まるとの資料が有りましたが、南郷スキー場の平均標高は750m、だいくらスキー場の平均標高は1000m、温度差にして、1.5度の差が有り、降雪深の観測地点の差異がある事から、雪不足による運営リスクが南郷スキー場は高く、自然環境による問題なので、今後の改善出来ない懸念点になるのではないかと思います。 タウンミーティングで、トマト生産者の方々から、南郷スキー場が無くなれば出て行くと言われたとお話しがありましたが、トマト生産は非常に魅力的な産業で有り、取引の材料として使われてしまった事が残念です。今後、南会津町のHPやSNS等で、南会津町の魅力的な農産物の発信を強化して、Uターンの間口を拡げていって頂きたいと思います。 南会津町の18歳未満の人口分布から推察すると、だいくらスキー場は地域の子供達の為に無くてはならない施設だと思います。指定管理者との連携の強化やスキー人口のみに視点を置かず、インバウンド対象のスノーツアー、グリーンシーズンの活用等を企画して、今後の収益改善を進めて行って頂きたいと思います。
43		だいくらスキー場	幼少期から台鞍スキー場でスキーをしていて、たくさんの思い出がある台鞍スキー場が無くなるのはとても悲しい。いろいろなスキー場に行ったが、台鞍スキー場より雪質が良い所はないと思う。大人になり、子供ができて、子供とスキー場に遊びに行くことを楽しみにしていたし、南会津町の魅力でもあったので、それがなくなるのは、これから住みたいと思う人も少なくなることに繋がるのではないかと思います。もっと住民に意見を聞いてから閉鎖するか決めるべきだと思う。
44		南郷スキー場	町財政厳しき折、南郷スキー場を存続され会員一同感謝申し上げます。愛好会は2014年高齢者の健康増進と会員の融和を図ることを目的に設立。町内の会員25人、町外から11人、オーストラリアから2人と幅広く受入れしスキー活動を盛り上げています。南郷スキー場は建設当時全国で初めて国の援助（過疎債の充当）を受け過疎対策事業とし実施されたものと聞いています。冬の貴重な観光資源としインバウンドを増やすとともに政府が計画している「地方創生」事業を活用し雇用の場を確保してほしい。南郷界地区オーストラリアからの訪日客（夫婦）は空家を購入しホームし今シーズンは6人で訪日。2週間の滞在となっています。町外、県外の会員の方々にもLINEを通して町の情報を発信し、冬だけではなく四季を通じて来訪者を増やしてゆきます。
45		だいくらスキー場	スキー場の運営は指定管理者であり、町は必要経費を支出しているだけ。だいくらスキー場を見てみると従業員の「やる気、本気」が見えない。従業員1人1人が売上げ向上に向け、アイデアを出し合いスキー場を守る意識が必要ではないか。指定管理者制度運用の見直しよりも、選定をしっかりとってほしい。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
46		だいくらスキー場	29ページの表を見ると、開設時期は3番目、圧雪車も3台と他より少ない。南郷は1番古いスキー場で、リフトの経年劣化が心配される。圧雪車も4台と維持管理費も莫大なものと推計される。そこまで経費をかけ継続することは理解できない。だいくらスキー場は規模を縮小したりロッジ等の削減を図ったりしながら継続してほしい。
47		だいくらスキー場	だいくらスキー場の方針理由は、「負」の要素は見当たらない。町当局もだいくらの期待は大きいと認めており、存続を望むものです。財政事情は承知しています。規模等を縮小してでも存続を望みます。
48		だいくらスキー場	2ページのイ、ウ、エについて心配しています。小中学生、保育所のスキー教室。地元の子供たちはスキー場を通じて心身共に鍛錬され育っていきます。遠方まで行っては大変です。だいくらスキー場の存続を願うものです。
49		だいくらスキー場	だいくらスキー場を未来につなぐ会の活動に賛同して書かせて頂きました。首都圏からも田島の街中からも一場近いだいくらスキー場を無くすのは、これからの過疎化の対策等を考えても時期尚早だと思います。今一度過疎化対策と一緒に活用する試みが必要だと思います。
50		だいくらスキー場	素案を見るとまだまだ閉鎖ありきの考え方のように見える。本気でスキー場を存続させる為に熟慮が必要。夏場の利活用などはまだまだ可能性のある部分に思える。スキー場単体の利害しか見られてなく町全体の利害としての将来への投資という考えも含めてほしい。スキー場廃止となれば町の主要産業がなくなるため町は廃れるのみ、若者の流出にもつながると思う
51		だいくらスキー場	従業員の高齢化が進んでいる為、続けるのであれば、若者(30代・40代)を集めた方が良いと感じました。
52		だいくらスキー場	素案の中身を見ると、残すべき理由になるだいくらスキー場の魅力しか記載がない。修繕補修費はすべての施設で掛かるもので、それだけが理由なのは納得ならない。だいくらスキー場をなくして、その分の観光客誘致の代替案もない中、人口減が進む南会津町で町の玄関口にある、最も交通の便が良いスキー場をなくして、この町に人は来るのか？ 南郷スキー場をトマト農家の定住促進というが、数えるほどの人数ではないか？選果場から20分で通えるところにだいくらスキー場がある。田島・南郷地域2つの地域から冬季雇用、定住促進の効果を得ることができる。行政が町を四つの地域に分けて考え続けては、町民はその考えに沿ってしまう。P23, 25をみても、だいくらスキー場の公費利用率は効率的である。他施設も含めて抜本的な公費節約を実施し、だいくらスキー場を残すべきではないのか？
52		施設全般	今回町有観光施設においての公費削減がポイントとなっているが、その他の公共施設全般に置いて、人も呼べない・雇用も産まない・なんの経済効果もない施設が多く残っている。他の公共施設全般に置いてどう公費削減をして行くのかもっと議論をするべきではないのか？
53		だいくらスキー場	だいくらスキー場は43年の歴史の中で、田島地域の主要な観光資源として町外・県外から多くの集客がある。豪雪地帯に生きる我々にとってこの資源を生かした経済活動をなくして、この町に生きる術はない。宿泊業・冬季雇用、どれだけの影響があるのか町はどこまで理解しているのか？今年さらに千葉市中学生4,400人も誘致している。町が本気になって人を連れて来ないと、この先この町に未来はない。この町に生きる若者に未来を残すために、だいくらスキー場は欠かせない。指定管理者の営業体制にもまだまだ改善できる点がある。根本的な再考を求む。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
54		だいくらスキー場	だいくらスキー場がなくなれば地域全体の活力がなくなり、この町の衰退がさらに進むと思います。子供の数も減り続け、どんどんと寂しくなる中、人を呼ぶための施設がなくなってこのままではどうなるのか心配です。こんなに交通の便がよいスキー場は限られており、関東圏内からもお客さんがたくさん来ています。町が全力を出して、スキー場で人を呼ぶような努力をもっとして欲しいです。例えば、東京からお客さんが来ると、田島駅から交通手段が足りないと言われます。リバティに合わせてスキー場の従業員バスを使ってピストン輸送するなど、スキー場にどう人を呼び込むかもっと出来ることがたくさんあるはずです。
55		だいくらスキー場	診断受託者の診断の質にそもそも疑問がある。時間に制約があった上に、各施設の評価が偏りがありすぎる。それを町で全く揉まずにそのまま使っていることがそもそもの問題ではないのか？今年からだいくらスキー場は千葉市の団体が入っているが、いままでのスキー場と比べて雪質がとても良く、レッスンの質も高いとかなり好評と聞いている。他のスキー場が閉鎖する中、だいくらスキー場を代替として、ファンになる人たちが増えているのに、ここを閉鎖してどうやってこの町に人を呼んでくるのか、代替案がない状態で、観光施設の閉鎖を提案することがおかしいと思う。だいくらスキー場の素朴さ、スタッフの温かさが好きできてくれるファンも多い。だいくらスキー場は町の資産として活用すべきだと思う。
55		たかつえスキー場 たかつえカントリークラブ	この先、長期的に考えた場合、現在1番公費がかかっているこれらの施設について再考をする必要があると思う。 たかつえスキー場はホテルも赤字で、町への経済効果も限られている。外部委託して従業員を雇っている状態。民間移譲を考えるのであれば、まずはたかつえスキー場なのではないかと思う。この先長期的に継続するのであればホテルも含めた修繕費が本当にどれくらい掛かるのかきちんと認識すべきである。ゴルフ場に至ってはすでに赤字でそもそも観光施設として人を呼び込んでいない。甲子道路もでき、町内の人も白河・那須に年間通して簡単にゴルフにいける。このような高い費用をかけて施設を維持し、安価で近隣町村民向けに私たちの税金を使って施設を維持することには強い疑問がある。
56		だいくらスキー場	冬季間における観光資源誘客資源、また雇用の資源として、だいくらスキー場の役割は大変大きなものと考えています。仮にだいくらスキー場が閉鎖となった場合その代替案となるものが、示されてないと思います。もちろん持続可能にするには、経営の健全化は最低条件でしょう。であればなおさら地域住民をある意味巻き込んで、スキー場の経営健全化、地域発展を模索していただきたいと思います。スキー場存続への町民の関心は高いと考えており、実りのある協力体制を構築できると考えています。私はだいくらスキー場が大好きです！どうかご検討お願いします。
57		だいくらスキー場	だいくらスキー場は旧田島町の観光地としてまた、町内の子供達の学びの場として無くしてはいけないうのではと思います。冬だけでなく、夏場の活用方法を考えてはいかがでしょうか。
58		だいくらスキー場	先日の住民説明会では、今回のスキー場問題で今になって予想外のことが起きたとの町長の意見がありました。ここ2～3年であちこちのスキー場が閉鎖になっていることは町も知っていたと思いますが、近隣のスキー場の状況などは調査はしていたんでしょうか？または指定管理者は他のスキー場の状況など調べてはいたんでしょうか？結果スキー場閉鎖が相次ぎ、その客がだいくらに流れてきていること、今後再来場の可能性があることを考えると、町として考え直すという選択肢は大いにあると思います。経営をみなみあいづに任せっきりの町にも問題があったし、なにも動こうとしないみなみあいづにも問題があったはず。いろいろと指定管理者に意見は出していただけれど、半ば諦め状態で無くなるはずはないと呑気に思っていた自分にも問題があり、スキー場開発から携わって来たものとして責任も感じています。オフシーズンの利用をはじめ、アイデアはたくさんあります。町民、町外のだいくらファンの中にも素晴らしいアイデアを持っている人がいっぱいいます。もう少しの間、町は利益の出るスキー場を目指して新しいことに挑戦してほしいと思います。なにもせずに廃止と言う町の考えには失望しかありません。再度検討を強く望みます。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
59		だいくらスキー場	集客力が高いスキー場であることから、さらに魅力ある具体的な方策を模索して行くことで、収入が増える。具体的方策については、いくつかあるが、送迎されている方が車で待っているので、その方に快適な場所を提供することが考えられる。その他については、何かしらの方法で伝えたいと考えている。
60		だいくらスキー場	年間通して利用できる施設にしていればスキーだけではないその他の魅力を発信していれば良いのでは。
61		だいくらスキー場	だいくらスキー場の夏場の有効活用など考えてもよいと思います。町内の観光施設の状況を書面で住民に説明があってもよいと思います。（今後の見通しなども）
62		だいくらスキー場	スキー場を夏場も利用できる様にイベント等があると一年中楽しめる場所になるのでは？
63		うさぎの森	体育館で子供達が楽しみに毎日使わせて頂いてます。子供達の楽しみを1つうばう事になってしまうので、うさぎの森体育館をなくす事は反対です。
64		だいくらスキー場	小さい子を対象にした施設などを増やしたり、意見を募集するのも1つだと思います。
65		だいくらスキー場	年間6万人～7万人の来客があり、外貨を落としている。閉鎖後の代替案がないことに計画性の無さを感じる。第三セクターの経営が杜撰である。一般企業のように本気な経営努力が必要不可欠である。役場がしっかり指導して赤字体質から抜け出す必要性あり。南郷スキー場圧雪車新規購入に7000万円の補正予算が計上されたと、．．．今だいくらスキー場閉鎖の目的でもある「公費削減」のなか、あまりにも無計画過ぎないか。全ての事がだいくらスキー場閉鎖ありきで話が進んでいるようだがっかりしている。だいくらスキー場がなくなった時の町民の落胆と町への不満は計り知れない。
66		だいくらスキー場	南郷スキー場開場以来、冬期間の収入がない南郷トマト生産に関連する方を雇用し、一年を通した収入の安定化を図り農業振興に大きく貢献してきたとあります。確かに南郷トマトは町の基幹産業である事は理解していますが、だいくらスキー場にも冬期間の就労の場として、農林業従事者、そして田島を代表する農業従事者（かすみ草、アスパラなど）が毎年働いており通年での安定した収入になっています。私のうちもかすみ草農家をしています。昨年度からうちでかすみ草を勉強して三年後には田島近辺に家族で移住し、グリーンシーズンには農業、冬場はだいくらスキー場で働きたいという人も実際にいます。令和13年度以降民間主導というのは正直、現実的に厳しいと思います。例えば、4つのスキー場の規模を縮小したりしながら、だいくらスキー場を令和13年度以降も継続してほしい。※豪雪地帯に生まれ育つ子供達が冬の間何の雪遊びもせず育っていく環境。将来自分達が大人になってもここで子育てをしたいと思うのか？何の魅力も無くなって、もっと人口減少に繋がってしまうのでは。
67		だいくらスキー場	全国様々なスキー場を巡ってきましたが、これほど地元の人たちに愛されるスキー場はそう多くないと思います。だいくらスキー場はウィンタースポーツやイベント等を通じて人と人がつながり、成長できる環境です。また、農業従事者等にとって重要な雇用機会でしょう。行政に携わる皆様が考えてらっしゃる以上に、地元の人が必要とする施設です。今般の議論を機に、だいくらスキー場の持続的な存続に対する意識が高まっているかと思いますので、ぜひ町だけの考えで独走せず、住民含めた町全体での議論が進むことを願います。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
68		だいくらスキー場	説明会資料等を拝見させていただきました。施設の廃止についてはより納得できる説明が必要であり、再度十分に検討されることを求めます。私自身は、現在町内の事業所に所属していますが県外より通っております。そもそも、ウィンタースポーツを楽しむため、アクセスの良さや雪質の良さからだいくらスキー場に通い始めました。その度に、田島のまちに泊まり食事を楽しんできました。その中で、まちの方々の人柄に触れ、良い時間を過ごせたからこそ、現在、南会津町でお世話になっていると思っています。私と同じように、スキー場に来ている方が町へ及ぼす経済効果もあり、町を知るきっかけとして機能していると考えます。スキー場といった施設はそれ単体で価値を計れるものではなく、町全体に波及する効果や、教育的な価値も含め検討すべき事柄であると思います。
69		だいくらスキー場	6年後にだいくらスキー場閉鎖という情報を知人やニュースでは詳しく内容も知りました。私は南会津町針生育ちでだいくらスキー場でスキー人生を過ごした1人です。だいくらスキー場は、ゲレンデはもちろん、スタッフやスキー関係者が温かくアットホーム感が満載なスキー場です！どこを滑っても、ロッジやセンターハウスに戻ってくることができ、初心者から上級者まで幅広く楽しめるスキー場だと思います！！幼少期から、雪遊びやスキーを通してだいくらスキー場にはお世話になっています。こんなに素敵なスキー場が無くなってしまうのはとても悲しいです。このような声が私だけではなく町民の方々も一部かもしれませんが思ってる人いるかもしれません。是非町民の人々の声に耳を傾けて頂けると幸いです。閉鎖なんて、たった二文字の言葉で片付けて欲しくありません。町民の声を聞く気があるのであれば是非考え直して欲しいです。
70		だいくらスキー場	私は、だいくらスキー場がなくなることに反対です。もし、スキー場がなくなってしまった場合、どのように県外からの観光客を確保していくのかも明確になく、コストの面だけをみての削減はどうかと思うからです。観光の魅力もなくなり、人の行き来がなくなり、衰退していく…そんな町に、これから子ども達は居続けてくれると思いますか？これからの南会津町のためにも、子ども達のためにも、だいくらスキー場を無くしてほしくはありません。
71		だいくらスキー場	資料を読み、説明会にも行きました。だいくらスキー場がなくなる理由が弱すぎると思う。公費削減の目的なら、公費が一番かかっているところ。今後、黒字が見込めて将来的に公費負担が少ないところを残すべきと思う。南郷を無くしたいワケではないが、そういう点から見ると、なぜ南郷なんだとなってしまう。それらに加え、指定管理者をなんとかすべきなのではないか。
72		だいくらスキー場	僕は小学生の時からずっとだいくらスキー場でスキーをさせていただいてきました。自然が綺麗で、雪質も最高で、リフト乗りのスタッフの人たちも優しく、本当に僕はこのだいくらスキー場が大好きです。僕はアルペンスキーを小学3年生から中学3年生まで取り組んできました。このだいくらスキー場があったおかげで、小学生の時から目標にしていた、全国大会出場を果たすことが出来ました。どうか、僕が大好きなだいくらスキー場を残していただきたいです。お願いします。
73		だいくらスキー場	今回だいくらスキー場閉鎖素案について、何故報道発表前に町民、さらにはだいくらスキー場ファン、働くスタッフ、だいくらスキー場に携わる全ての業者に現状の報告、相談、意見を先に聞かずしてこの素案に至ったのか。現にこれだけの来客数を計上し、利益率のみならず、観光来客数増を図っている田島唯一の観光施設、さらに増益に向けた施策専門コンサルティング業者に依頼をするなら意志把握できるが、診断協会に依頼を先行し、閉鎖の言葉を発し、町民を不安にしたことが町民としてはとても疑問に陥る。どのスキー場を閉鎖してどのスキー場を残してほしいと言うことではなく、南会津町、町民の未来に大きな影響に繋がりうる施策、政策は、費用対効果において難しい部分ではあると思うが、民意をしっかりと聞いたうえで発してほしい。今をみるのではなく、しっかりと精査した未来に繋がるような施設の維持、改善、攻略を地区地域を公平にした決定をお願いしたい。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
74		だいくらスキー場	だいくらスキー場が開業から今日まで地域にスキー場がある環境で育て来ました。また子もこの環境の中で育って来たので、スキー場の存続の話しには驚かされました。色々な方々からこんなに素晴らしいだいくらスキー場が無くなってしまふのは嫌、知人からも多く聞かれます。皆んなだいくらの上質な雪質と素晴らしい環境に魅力を感じていますし、絶対に無くなっては行けないと思います。冬だけでなく、夏場の活用出来る事があれば良いなと思います。
75		たかつえスキー場	たかつえスキー場については令和13年度以降も継続との方針が出ましたが、その指定管理者の経営能力には期待をしていません。また多くの町民もそうではないでしょうか。指定管理者の経営姿勢は観光サービスを生業とする意識は希薄であり経営改善すら見られません。今年2月19日館岩地域で行われたタウンミーティングでの地域住民から寄せられたたかつえスキー場運営内容に疑問を投げかける関係者もいましたが、これらの声は以前から機会があるごとに要望していても改善されないのが現状で、この機会に指定管理者を改めるべきではないでしょうか。議会からも種々の提言がなされていると聞いていますが、スキー人口が減る中で新たな発想と大胆な経営力が求められています。それぞれの地域の異なる背景の中で、地域の人達が持っている知恵や力を最大限に引き出すリーダーシップのある指定管理者が必要だと思います。事例としましては現在高畑スキー場を運営している指定管理者との検討も必要ではないでしょうか。
76		だいくらスキー場	こんにちは、町民の1人してお願いします!!Iターンで田島に来て45年になります。当時は田島にスキー場は無く、子供達は田んぼや畑の傾斜を利用してスキーをしていました。でも、スキー場が出来て喜んだ顔を思い出します。今年1月頃、スキー場が閉鎖になるような事になれば一段と火が消えそうな感じです。私としては30%位規模を小さくして続けてもらいたいです(子供達のために)。残り30%はかまくらを作りそこで食事してもらい関東からの人達に冬の楽しさを味わってもらいたいです。誘客に繋がれば良いと思います。①鉄骨で作る②網で囲む③雪で固める④5カ所作る⑤1カ所に10名入る
77		だいくらスキー場 憩の家	今回町の説明を聞いていると、これまで指定管理者任せで、町として誘客の努力があったのか疑問が残った。スキー場等今後検討する施設についても、町が積極的にかかわって誘客するという姿勢が感じられなかった。町と指定管理者が努力し、その結果を公表し納得を得てからでない町の方針は理解を得られないと思う。スキー場については近隣のスキー場の状況が変わっているため、再考に必要があると思う。今年は千葉から小学生が大勢来ているとのことであったが、町として千葉県教育委員会等へのPR活動を行うべきである。 憩の家について、バス路線が廃止されるなら別の方法はないだろうか?「会津高原尾瀬口」という駅名が恥ずかしくなる。野岩鉄道及び会津鉄道の乗客も減少し、他にもいろいろ影響が出る可能性があると思う。
78		だいくらスキー場	昔から通っているが、5億の修繕が必要なほど致命的な老朽化をしている施設は見受けられないと感じた。段階的、部分的には必要としても単年度に計上する根拠はうすい。冬の観光資源をなくすことは、今以上に南会津町を「通過する途中の町」にしてしまわないだろうか。だいくらスキー場はたかつえと比べても冬以外の利活用が薄いように感じられる。藤生わらび園のような山菜場、傾斜を利用してスポーツやアトラクション、秋の紅葉狩りのコース整備など、収入を得る取組が見られない。南郷トマトを始めとする地域農業への将来的な影響への懸念。南郷トマトが地域ブランドとして成功したのは行政と住人、JAと市場が一体となった生産者育成と自立できるだけのシステムが構築できたことが大きく、その中でも「豪雪地帯で勤労世代の冬の雇用を維持する」ことの役割はこの上なく大きい。少子高齢化が加速する南会津町においてUターン、Iターンを見込める地域産業が他にどれだけ存在するだろうか。トマトに限らず、そのノウハウを活かした次の農産物ブランドを作り上げるのにも田島エリアのスキー場はかせない。これからも農業をする若者を呼ぶための重要施設であり、無くしたものを再び始めるのは続けることよりも遙かに困難であると思う。町の先人たちが半世紀紡いできた財産を机上の目算をもってなくすことがないことを切に願います。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
79		だいくらスキー場	5億円のロッジ改修費は削除されたのでは？それが理由であるのなら閉鎖はしなくても良いとおもう。
80		だいくらスキー場	スキー場の閉鎖によって、今まで取引のあった業者さんはその売上がなくなるわけで、大きな打撃になります。町内の業者の元気がなくなれば、経済が回らなくなり、閉店せざるを得ない店も出てきます。また、農家の方の冬季雇用もなくなれば、人口流出は止められなくなると思います。
81		だいくらスキー場	だいくらスキー場で冬期パートをしています。だいくらスキー場存続のお願い。○雪質の良さ・・・暖冬傾向にある昨今こそ残すべきスキー場と考えます。昨年度、本土で雪のある数少ないスキー場の1つでした。そんな中で一番アクセスが良かったと思います。○冬期就労の確保・・・私の場合、姑が子育てに非協力的で専業主婦が長かったので、年金が少額です。当時、子育ての公的サービスもなく、この時代に子供にお世話になるわけにもいかず、要介護の老人をかかえ、出稼ぎもできない。主婦なので家のこともあります。女性の冬期就労のためにも残してほしいです。
82		だいくらスキー場	ちかくておもしろいところだからなくなってほしくない。
83		だいくらスキー場	だいくらは近くて楽しくてれんしゅうもできるのでなくなってほしくないです。なくさないでください。
84		だいくらスキー場	だいくらスキー場は残すべきだと思います。改善すべき点が多く、残すための戦略含めやり切っていない。PR方法、雇用の見直しで十分やっていけそうだと思います。雪質もコースも最高で田島の自慢でもあるだいくら、町が一体となって残す方向で動いてもらいたい。
85		だいくらスキー場	だいくらスキー場について廃止を一旦見送りにして、観光客を呼び込むイベントや広報などを行って、だいくらスキー場を存続させてほしいと思っています。だいくらスキー場の雪質、コースにはとても魅力があると思います。雪質が良いので、上級者も呼びこめて、上級者だけではなく、初心者もすべりやすいコースも多くあり、スキーを初めてする人や、普段雪の降らない国からの外国人観光客にもおすすめできるスキー場だと思います。そのため、外国向けの広報や、外国語表示を増やすなどのことをして、知名度が上がれば、人気のスキー場として有名になることもできる場所だと思います。また、現在建設中の「下郷田島バイパス」などの高規格道路が完成すれば、アクセスも良くなり、会津地方内の移動がしやすくなることで、会津地方自体の観光客も増えると思います。せっかく何十、何百億の予算をかけて道路をつくったのに、すでに主要な観光施設はいくつも廃止になっているということにはなってほしくありません。このことから、だいくらスキー場を存続させてほしいと思います。
86		だいくらスキー場	私は田島で生まれ田島で育ち冬はだいくらスキー場での思い出がたくさんあります。今では孫達を毎年だいくらに送り楽しみにしているところです。存続をお願いしたいです。
87		だいくらスキー場	だいくらスキー場を子供達のために残してほしいです。
88		だいくらスキー場	私はこのだいくらスキー場で小さいころからお世話になっています。スキー大会や遊びでもいろいろ行事でお世話になりました。いろいろなこどもたちからもしんらいされていたスキー場なのでぜったいになくならないでくださいおねがいします！だいくら大すき〜♡
89		道の駅	南会津町の各道の駅を充実させ、南会津町を知ってもらうきっかけをつくったほうがいいと思います。他所のたくさん人が来る道の駅はいろいろな物が充実しています。もっと地元をアピールした地酒や食べ物、華やかに活気あふれる町にしましょう。もっと町の中心的な場所に道の駅があっても南会津町の施設等を利用したいする人が増えるかもしれませんね。
90		だいくらスキー場	だいくらスキー場は、町民はもちろん県外からも沢山のお役様が来る人気のスキー場だと思います。アクセスも良い、雪質も最高と言ってくれる方も沢山います。また、保育園、小学校、中学校、レーシングチームの学ぶスキー場でもあり、子供から大人まで楽しめるだいくらスキー場をなくしてはいけません。是非、だいくらスキー場を存続して欲しいと思います。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
91		だいくらスキー場	私がスキーを買えたのが、このだいくらスキー場でした。母と土日スキー場に通い、スキーがすべれるようになり、スキーの楽しさを知りました。そして、私も親となり、我が子をこのだいくらスキー場でスキーを教えることができました。子供達もスキーが大好きです。いつか、子ども達が親となり思い出残るだいくらスキー場で私のようにスキーを教え、スキーを好きになれたら幸せなことだな〜っと思っています。そんなだいくらスキー場の存続を願っております。
92		だいくらスキー場	これだけの行動を実施される「＃だいくらを未来につなぐ」に関わる方々への賛同の意を表します。だいくら閉鎖（案）を耳にした時、道路開通するのにな。。。主要駅、町から一番近いのにな、など残念に思っておりました。それから、この資料を拝見し、賛同できる調査、意見が示されており、存続の意義、可能性を改めて感じました。外国からの集客、SNSなど宣伝の強化など、大きくお金を使わなくても出来る事もあるのではないのでしょうか。今一度、次の世代へ自慢の雪国をつなぐ検討をお願いします。追記、スキーはせっかく近くにスキー場があるので小さいことから楽しむ機会を設けると良いと思います。そうでないと、除雪が大変とか、雪に対して負のイメージしか持てなくなってしまうかもしれません。
93		だいくらスキー場	県内外からの集客を集めるスキー場がなくなることは、反対です。現場にも、もっと改善できることはたくさんあると思います。ひとつひとつを見直しつきつめていくことが大切だと思います。だいくらスキー場があるからこそ見込める収益もあるかと思います。子供達の将来のためにも、これからの南会津町の活性化のためにも残すために出来ることを教えていけたらと思います。
94		だいくらスキー場	地元事業者、季節雇用者、地元小中学校、保育園等のスキー教室、冬期間の雇用を考えて、雪に活路を託した先人の思い等々、縮小してもなんとか存続を願います。雪のない所から雪をもとめて南会津に来るスキーヤーの為に春に咲く芝桜等山一面に植えて、冬以外の集客等はスキー場の収入にはならないのでしょうか。
95		だいくらスキー場	素案の比較データを見ても、だいくらスキー場を閉鎖する理由が見あたらず、代替案も示されてもいない。閉鎖ありきではなく、一度白紙に戻し、再度検討する必要がある。
96		きらら２８９	きらら２８９と南郷スキー場の連携をして、やっていければと思います。現在、きらら２８９の評判もよくないと聞くので、また第三セクターで運営をしていき、お客をよんでもいいのではないかと思います。
97		第三セクター	各施設の運営状況を把握するうえで、運営者である指定管理者には説明責任があると考えます。特に、町が100％出資している第三セクターの経営陣は、町民への説明の場に立ち会い、運営状況について説明する責任があると思われます。 今回、各地域で論争が起こっていますが、行政による説明だけでなく、実際の運営者が説明を行うことで、町民の理解が深まると感じます。町民と施設運営者が一体となり、施設を存続させるために何をすべきか、地域住民がどのような支援をすればよいのかを話し合う場を設けることが、結果として南会津の活性化につながり、未来へと続く町づくりに貢献すると考えます。 ここからは私個人の意見ですが、将来的に南会津町の人口減少に伴い住民税の収入が減少し、さらに館岩地区では働く世代がほとんどいなくなることを想定すると、町にとって最大の負担となるのは「たかつえリゾート」ではないかと感じます。しかし、診断受託者の提言にもあるように、現時点でたかつえの各施設に一定の魅力があるのであれば、スキー場・ホテル・ゴルフ場をセットで、運営実績のある民間企業へ売却することも選択肢の一つではないのでしょうか。これにより、将来的な町の財政負担を軽減し、施設の集客力・経営力が向上することで、町を訪れる人が増える可能性もあります。 今回の論争が、各地域の対立によって町の魅力を損なうのではなく、次の世代にとって魅力ある町づくりへとつながることを願います。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
98		だいくらスキー場	結婚を機に田島に来ました。子供が産まれるまで友達も出来ず、休みの日は田島を出て遊んでいました。子供が生まれ幼稚園に行き、小学生になり田島のいいところたくさん知りました。そのなかのひとつにだいくらスキー場もあります。今回、閉鎖することに反対以外の声もありました。それは時代の変化と共にスキーに親しむ子供達を育てていけなかった事もあると思います。滑れるようになるまでのサポートにもっと力を入れスキーが出来ない親の子供でも、楽しめる機会作りをしていくべきだと思います。スキー場には田島を出たOBも遊びに来て子供たちのサポートをしてくれることもあります。自分達がして貰ったから、自分達もしている。と聞いたことがあります。お金の為じゃなく動ける力、これからの時代本当に貴重だと思います。だいくらスキー場を閉鎖してそれに変わる人を呼べるなにかは今のところ特にないと町長さんは言っていました。町に活気がなくなれば医療の衰退や冬の除雪が行き届かなければ大変なこと、スキー場に興味がない人達にも必ず影響があると思います。スキー場がなくなって欲しくないのはもちろんだけど、私も子供達もこの先も住みたい、遊びに帰って来たいそう思える田島であって欲しいです。
99		だいくらスキー場	通年を通した観光資源に乏しい南会津町にとって冬期に町外から人を呼べるスキー場は大きな資源だと思います。特にだいくらスキー場は南会津町の中でも都市圏に近く、町外からのスキー客が多く訪れており、南会津町を知るきっかけになっているのは間違いないと思います。そうして少しずつでもこの町を知ってもらうことが、将来的に人口減少が免れない町にとっては生き残るための基盤の一つになるのではないのでしょうか。確かに現在の経営が厳しく、今後の設備投資にも多額の資金が必要であることは十分理解しますが、ここをなくしてしまっは、代替となる観光資源もなく、町は先細りをして行っただけだと感じています。まず閉鎖ありきではなく、他の観光施設や今後のだいくらスキー場の状況を暫く見た上で、判断をしてもいいのではないのでしょうか。いまこのタイミングで閉鎖を決めるのは拙速に過ぎると感じています。
100		だいくらスキー場	子供達の笑顔を家族の絆時間を未来に残してください
101		だいくらスキー場	パウダースノーで何処か素朴感のある、だいくらスキー場が大好きで、何度も通っているうちに、とうとう東京から移住して小さな宿を営んで約30年になります。昨冬は、暖冬になり多くのスキー場が雪不足で困っている中、雪のあるだいくらスキー場には、多くのスキーヤーが来てくれました。今冬も、大雪の中パウダースノーの素晴らしいゲレンデを求めて、沢山のお客様が来てくれております。茨城県や栃木県のお客様が多いのですが、もちろん日帰りも可能な中、ゆっくりと泊まりみっちり滑りたいシニアや家族連れの方も沢山いて有り難く思っています。しかし、今年度は会津高原リゾートイン台鞍がなくなったせいか、宿泊予約の問い合わせが多数あり当宿では泊めぎらず、お断りするお客様が沢山出てしまいました。針生では営業している宿が6件しかなく、町場の旅館やホテルにお客様が流れていってくれたなら良いと思っています。羽鳥湖スキー場やマウントジーンズスキー場がなくなり、最も近くて最高のスキー場が、だいくらスキー場なのです。どうぞだいくらスキー場を愛し、何十年も泊まりに来てくださっているリピーターのお客様のためにも、また冬のお客様が年間を通してほぼ9割を占めている当宿としては、スキー場が無くなることは、大きな痛手であり死活問題であります。どうか、スキー場の存続を切にお願い致します。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
102	5 ページ	だいくらスキー場	私は田島出身ではなく、結婚してこの南会津町に引っ越してきました。私も小さい頃からスキーを楽しめる環境にありよく母とスキー場へでかけていました。その時間はとても楽しくとてもいい時間でした。南会津町にも4つもスキー場がありウインタースポーツを楽しめる環境にあります。私の子供も小さい頃からスキーが大好きで今はアルペンスキーの競技スキーを頑張っています。この素晴らしい環境を活かせるスキー場を閉鎖してしまうのはとても勿体なく思います。現に、毎年だいくらスキー場に来るのを楽しみにしてくれている人がたくさんいます。完全に閉鎖するのではなくどのように経営すればプラスになっていくかを考え継続してほしいです。親子の絆が深まり、交流の場にもなるだいくらスキー場。関東からも来やすく、ごはんも美味しいと好評です。どうかもう一度検討をお願いします
103		だいくらスキー場	だいくらスキー場で働いている者です。まだまだ利用価値の有る施設を町の財政を理由に閉鎖と言うのは、あまりに安易な発想だと感じる。スキー場単体では、黒字経営と伺っている。全体を見て閉鎖の案を提示したのかもしれませんが、まだまだ売上を伸ばす方法のある施設を閉鎖してしまうより、現場の声を聞きながら黒字をもっと伸ばす方策を考えて行った方が町全体としても潤うと思う。例えば、夏場のスキー場利用や予算をあまり掛けずに冬場の売上を伸ばす方法を広く公募し話し合い検討するべきだと思う。
104		だいくらスキー場	だいくらスキー場は若い頃から利用させて頂いて、思い出が沢山詰まったスキー場です。とても滑りやすくこれからも存続をお願いします。
105	2ページ	4スキー場	まず一部のスキー場の閉鎖は止むを得ないと思います。老朽化したスキー場を今後4つも維持することは無理がありここに踏み込んだ町の勇気に賛同します。しかしながら町が支援するスキー場の選定は冷静に行われなければならないと思います。農業振興及び定住促進の拠点というのはスキー場の存続とはかけ離れた理由でそこに関しては国の支援などが見込める農業助成制度や定住に向けての家賃補助など直接的なものであるべきだと思います。スキー場はスキー場として診断結果に示されているように将来が見込める2つのスキー場を残すべきだと思います。過去5年の例より公費負担が今後5年で3億円以上削減できるならその7割を今後5年単位10年単位で削減された地域を中心に農業分野や温泉分野など住民のために投資すべきと考えます。「トマト農家は年収400万円以上なの？ いいなあ〜」とか「えっ！ 公民館に温泉があるの 西部はいいなあ」とか今後の10年を想い描くことで（町が具体的に地域振興計画を示すことで）地区の人たちは納得してくれるのではないのでしょうか。たかつえスキー場とだいくらスキー場を残し閉鎖した地域の振興策の充実をお願いします。
106		4スキー場	だいくらスキー場、高畑スキー場閉鎖の決定について、もう少し検討をお願いいたします。町内にある4つのスキー場は雪質も良く、それぞれ特徴があり、4つあることが県外から南会津へいらっしゃる観光客への魅力ともなっています。スキー場があるため、1ターンし農業に従事されている方もいます。現状、宿泊施設の少なさに困っている方も何人もいますし、関東方面からの需要はもっとあるのではないのでしょうか。スポーツ店を営んでおりますが今年は栃木県や県内スキー場の閉鎖もあり、町内のスキー場のシーズン券を買った方が増え、来年は4スキー場のシーズン券を買いたいとおっしゃる方もいました。スキーは親子、さらには三世代一緒に楽しむことのできるスポーツです。その観光資源を何とか持続してほしいです。また気軽に雪景色を楽しめる場所としてスキーを滑らない方もスキー場に行って楽しめる施策が増えたらいいと思います。南郷スキー場のレストランがとてもおいしいと、ご飯だけを食へに行くお客様もいました。ぜひご検討くださいますようお願い致します。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
107		だいくらスキー場	だいくらスキー場存続すべきと考える理由 ・雪国南会津の保育園～中学校のスキー教室の場であり、教育の場として利用が安定している。 ・雪質が良く、圧雪も良く、初心者向けから段階を踏んだレベルの方まで利用しやすいコースが充実している。 ・スキー・スノーボードスクールの口コミの良さ。皆んなに知ってほしい。 ・利便性が良くアルペン競技者、技術競技者への理解が深い、1歩目の踏み出しやすい環境であること。 ・6年度、他スキー場からの団体客の利用が増加している。※集客に関しては、SNS活用、近辺のペンションや民宿の現状把握及び情報更新、反映もできるとより安定した来場に結びつくのではないのでしょうか。 南会津町の魅力のひとつでもある冬期間。利便性もいいスキー場がなくなったら、雪国の魅力を知る1歩目が踏み出しにくくなります。 だいくらファンが南会津ファンになり移住する選択をすることは珍しくありません。現に、私もだいくらファンのUターンの子育て世代です。今回の件は、だいくらだけ残して！という地元民の気持ちだけの問題ではなく、だいくらの存続を考える事で南会津町のこれから続く未来へ繋がる議題だと思います。今回を機に、財政状況の修正改善をはじめ、町全体の活性化について町民と町が考えていけるようなきっかけになればと思います。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
108		道の駅たじま	道の駅たじまの利用者減少が心配でなりません。年間来客者数の推移が、平成21年が約38万人、令和4年は18万人と12年間で約48%の利用客が減少しています。関東方面からの観光客の玄関口に位置することから、売上も高く、多くの生産者や業者が頼りにする町有施設です。しかし、売り上げは利用者数の減少と共に下がってきているはずです。（過去のデータが無いので正確にはわかりませんが）道の駅は、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の人々のための「情報発信機能」、道の駅を核としてその地域の町同士が連携する「地域の連携機能」という3つの機能を併せ持つ施設であると認識しています。直売所としての機能ばかりではないことはわかりますが、町内の直売所としては一番の売り上げであるのが現状だと思います。春から秋にかけて地元野菜などを中心に販売される外のテントは、R4で約4100万円の売り上げで、道の駅売り上げ全体の19%の割合になります。お客様は道の駅で「地元の旬の食材を！！」と楽しみにいらっしゃる方が多いと思います。しかし、販売環境としては生産者含め多くの方が疑問をもつ状況にあります。運動会などで使用されるテントの下で野菜が販売されており、販売スペースの室温は外気温に左右され、販売環境は夏場の炎天下ともなれば非常に過酷なものとなります。冷蔵ケースもなく野菜やキノコなど痛みやすく、生産者も出荷を見合わせる場合もあるようです。大雨や強風時には商品はおろか、お客様の安全確保も難しいテントでの販売スタイル。その様な現状でお客様を受け入れている状況はだれが見てもおかしいと思います。最近では本館の屋根が修理中なのか、ブルーシートが張られた状態が続いています。店内照明もLEDでなく、他の道の駅に入った時のような鮮やかな明るさはありません。R5実績で使用された修繕費は76000円です。修繕が必要のない状態であれば理解できます。売り上げが多い施設（たかつえスキー場に次いで2番目）、多くの生産者や業者が頼りにしている場所。多くの観光客の方が足を止める場所。要するに、お金の稼げる場所になぜ修繕費を掛けないのでしょうか？近年、周辺にも大型の道の駅が出来、それぞれが地域の特色を活かした工夫をこらしています。当然、お客様の道の駅に対する期待値も上がります。これは役場の皆様も分かることだと思います。是非、指定管理会社や生産者、納入業者と話し合う機会を多く設け、現場の現実・現状を把握していただきたいと思います。何度も何度も話し合い、いろいろな問題を洗い出し、そして設備だけでなく、様々なところにメスを入れていく必要があると感じています。現状・現実を変えるのは相当な苦労がつきものですが、数年後振り返った時に「あの時苦労してよかったな」と言えるような将来が来ることを願っています。変化しないと生き残れない時代です。道の駅の未来、町の未来の為にご尽力いただけること願っています。
108		だいくらスキー場	南会津町が直面している厳しい財政状況の中、町有施設に対する公費削減の必要性は理解できます。昨年12月のTV報道が無ければ、だいくら存続に向けた活動が始まらなかったかもしれません。なぜ、だいくらなのか？スキー場減らしが目的ではなく、公費削減が目的なのに、なぜ全体的な削減ではなく特定の2スキー場なのか？だいくらにはスキー人口減少の渦中においても、R5年実績で売上1億5400万円に対し経常利益が約2400万のと経営努力が数字として出されていると思います。年間6～7万人の観光客が利用し、観光資源の少ない南会津町にとって貴重な観光資源であることは間違いありません。昨年の少雪時においても県内で雪のある数少ないスキー場として、多くのお客様が来場してくださいました。今年は周辺スキー場の営業状況などから、昨シーズン以上の来場者があり、週末は沢山のお客様でスキー場が賑わっていました。平日には4000人以上／シーズンの千葉県の子どもたちがスキー教室に訪れて、賑わっていました。しかし、売り上げと利益の陰には町から支出される公費が修繕費に充てられている現実があります。この事実から目を背けることは絶対にしてはいけません。しかし、だいくらスキー場にはまだまだたくさんのお客様を呼び込める可能性がある。何らかの原因で実行されてこなかっただけなのだと思います。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
108		だいくらスキー場	町の所有するスキー場。そして指定管理会社が運営するスキー場。私たち町民にとっても町内経済・季節雇用・子供たちの教育の場所と非常に大切な場所です。是非、この機会に町民も大切なスキー場を守るメンバーに入れていただけるような仕組みづくりを町長にはお願いしたいです。地域に愛されお客様に愛されるスキー場となる様、微力ながらお手伝い出来ればと思います。これから我々町民にもこの町有施設問題を自分事として受け止める為に、施設毎にどれだけの公費が使われているか？公費の使用用途の詳細。施設ごとにどれだけの損益が出ているか？などの情報を町民に毎年開示していただけないでしょうか？またその情報を広報みなみあいづで町民へ周知していただけないでしょうか？株式保有比率が町100%の第三セクターもあります。これは町民全てが株主であるという立場になるのではないのでしょうか。そうすると我々町民が経営状況をする権利はあるはずです。第三セクターは町の町有施設運営にとって欠かせない存在であると思います。是非、町有施設の有存在価値を経営的観点から高めて頂き、一人でも多くのお客様に足を運んでいただく経営を今以上をお願いしたいです。公費を資本金として運営している以上、絶対に町民に対しての情報開示は必要だと思います。自分の子どもがUターンして戻ってくる、魅力のある町であり続ける為に、大人が頑張らなくてはと今回のだいくら問題で再認識しました。町有施設問題にメスを入れられた町長ご決断と、町民の意見を真摯に聞いてくださる姿に感謝いたします。6月の方針作成に向け、つなぐ会のメンバーや現場の方々など声をかけて頂き、何度も何度も話し合い、是非町民が奮起するような方針をお願い致します。全てが崖っぷちだと思いますが、出来る事から挑戦していけばきっと明るい未来をつくれると信じています。
109		だいくらスキー場	南会津に来るようになって27年、南会津に魅せられ2地域居住から移住して12年となりました。田島の町中とも近く四季を楽しめるだいくらスキー場はスキーだけではなく南会津の景観を彩る重要な場所です。スキー人口が減少する中、単に冬だけでなく四季を通じて人を呼べる可能性のあるだいくらスキー場は重要な観光資源、誘客の宝庫です。これまでいくら言っても動こうとはしなかった「みなみやま」は外し、新たな体制で四季を通じた誘客に転じるべきと考えます。四季を通じて活用するアイデアはたくさんありますが、多くの方から様々なアイデアが出るでしょうから今回は私の考える多くのアイデアの中の1つを記述します。 *だいくらスキー場を自転車の基地として活用。 南会津は車も信号も少なく自転車乗りにとっては一度来るとはまってしまいう自転車聖地となりうる場所です。コロナ過で中断せざるを得ませんでした。冬以外は広い駐車場もあり、素晴らしいゲレンデもあることから、ロードバイクやMTB、グラベルなど様々なタイプの自転車にとって楽しめる基地となり自転車王国を実現する良い機会になると考えます。例えば以下のようなイベント等やライドが楽しめます。 ・南会津1周サイクリング（100km、150kmコースが可能・・・スキー場から針生・駒止湿原経由林道・きらら・351号線・内川・352号線・尾瀬口・田島・スキー場で100km（内川から352号線、大規模林道・木賊・湯ノ花を経由すれば150km）・南会津全体を利用したサイクルロゲイニング・ゲレンデや近隣の林道を活用したMTBライド、グラベルライドなど（冬のファットバイクライドも可能）。どこも過去に活用したコースでサイクリストにはたまらないロードや景観を楽しめます。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
110		会津山村道場	山村道場の一旦閉鎖を聞き、また提示された資料で「現指定管理者においては、誘客促進の取り組みに積極性が見られない。」との記述を見て愕然としております。数年前に指定管理に応募してはねられましたが、今一度提案内容を見て頂ければと思います。冬も含めて（現在は冬は閉鎖との事）我々ならばこのようなことにならなかったのという思いで一杯です。会津鉄道の駅からも近く首都圏からの誘客には絶好の場所でありながら、誘客出来ないとは考えられない状況です。今後、どのようにするかを見直すという事ですので、ぜひ町の意欲ある方々を集めて今後の方針を話し合い、再開して町の発展の拠点として活用することを願っております。（町の事を知らないコンサルや自分で動いていない有識者？を集めても意味がありません。公募するなどして、真に町の発展を願い建設的な意見をだせる方を選んでください）
111		だいくらスキー場	町の財政が厳しく、スキー場を減らすのは理解できます。しかし、なぜだいくらスキー場何ですか？数字を見ても一番安定していると思います！それに町の中心部から車で15分で行けます！峠を越えることも無く国道からすぐアクセスできます。もしスキー場で怪我や体調不良になっても病院まですぐ行けますし、スーパーやコンビニにも行けて利便性も高いです。アクセスが良いということは子育て世代にはとても助かりますし、利用しやすいと思います。年間約7万人程の利用者がいますが、閉鎖した際にその人達が他の残る予定のスキー場に流れるとは思えません。周辺のスキー場が閉鎖もしくは休業になりそこから一番アクセスの良いだいくらスキー場にいま人が集まってきています！もう少し周りの状況や現場に来て色々見てから判断してほしいと思います。
112		だいくらスキー場	無くさないでほしいです。親子で素敵な思い出を作れる大切な場所です よろしくお願い致します
113		第三セクター	今回、スキー場の廃止問題に端を発した件ですが、外部の調査会社の報告、答申を鵜呑みにした町当局の発表は愚の骨頂と言わざるえません。地元の現場で働く人達の声をちゃんと聞いてましたか？地元の声をちゃんと聞いてますか？もう一度白紙に戻して、撤退ありきではなく町民の意見を聞き、存続させるには何をすべきかを徹底的に話し合い、前に進むべきと思います。赤字からの脱却をする為には何をすべきなのか、第三セクターが中心となり、今あるものを使って何処まで出来るかを検証し、社長以下役員達が先頭に立ち、全従業員とやるべきことをやり、町民にアピールする。なにもやらないで行政の顔色ばかり伺っていたのではダメだと思う。会津鉄道、野岩鉄道、東武鉄道、会津バス等の交通機関との連携、行政や観光物産協会とのタイアップ等、単独企画と連携企画を明確にして、利用するものはとことん利用し、使えるものはとことん使い支出を抑える。これら全ての事を踏まえて、冬だけでなく、1年を通じた誘客方法を町民を巻き込んで行うとか、マイナスだったもののプラス利用など色々な考えがあると思うので、是非意見の吸上げを実践して前に進むべきと思います。最後に第三セクターは町民が株主であって、行政が株主ではないのでそこを再確認すべきだと思います。今回は細かい事は省きましたが、大きな動きになりそうなので楽しみです。みんなで今よりも良い町づくりをし、定住人口を増して、明るい将来ある町にしていきましょう。
114	5ページ	だいくらスキー場	民営化せず、町営で存続してほしい。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
115		提案	施設の老朽化に伴う修繕や維持経費が大きな財政負担となり、不要な町有観光施設を閉鎖して歳出削減を図ることは理解できる。しかし、収益改善に向けた取り組みが無かったことは残念である。町有観光施設は、観光客だけのための施設ではなく、町民の拠り所の一つであり、町への経済効果をもたらす大きな存在でもある。素案からは、個別での収益確保が厳しいことは容易に判断できる。閉鎖は歳出削減になるが、同時に、就労先の減少、人口減の加速に繋がり、町民が望んでいることではない。今回の素案が、行政、町民が意見を出し合い、歳出削減や個別の収益を上げるだけでなく、個々の改善が相乗効果を生み（点→線→面→立体）、町全体が豊かになる施策立案のスタートとなって欲しい。 ・ワーキンググループ、協議会、コンソーシアムの設置（還暦以上も参加可能だが、口出しをせず支援のみとする）・令和4年(?)の「南会津町総合振興計画」の評価検討・令和2年(?)の「南会津ワカモノ会議」の評価検討・第三セクターの在り方と役割を再検討し、地域経済への貢献向上を図らせる・マンダラチャート（大谷翔平選手が使用）を活用し、具体策の検討・新規産業（新規就業）の開拓（野菜工場、角田牧場のチーズ、ジビエ肉の食肉処理）・「んだべえ」を活用した町の宣伝・観光施設での利用金額に応じたポイント付与と「んだべえクーポン」への交換システム（町内で利用したら町内で利用できるポイント活用アプリを作り、リピーターを増やす）・観光施設の町民向け利用料金設定（町民の福利厚生として）・セントラルキッチン（給食センターの活用?）による、スキー場、道の駅等への飲食物（牛丼、豚汁、4蔵の甘酒）の提供・だいくらスキー場のカフェテリア改革（予約席、ピザ窯（ピザ、しんごろう））・だいくらスキー場の素泊まり施設（部屋数限定）
116		方針案	①収益性の確保を原則 ⇒ P26の損益分岐点分析をベースに見ると、16施設中、損益分岐点売上高を下らない施設は6施設のみ。だいくらスキー場はその中の1つであり、6月に診断受託者が評価した正常収益力に基づく事業価値において、だいくらスキー場は最も高い事業価値の20,725千円を示している。（たかつえスキー場6,427千円、南郷スキー場▲5,651千円、高畑スキー場▲66,234千円）この素案からは収益性の確保を原則としている視点が欠けている。 ②経常経費、設備整備経費などは利用料をもって充てることを原則 ⇒ 素案のベースとなっている診断受託者の分析時に施設管理者と何をどこまで削減できるのかのやり取りが全くない中でどのような事業計画が描けるのか? 非常に無計画かつ楽観的な考えではないか。町の財源の最適な活用を考えるのであれば、公費負担割合の上限を設け、その中でどのような事業プランが描けるのかなど、各施設との緻密なやり取りが求められる。
116		方針案	⑦「地域への効果」 ⇒ 観光施設として「どれだけ人を連れて来れるのか」「どれだけお金を使ってもらえるのか」の評価が必須。P28全国的にスキー人口が減少する中▲58%（H18 vs R2）、だいくらスキー場は▲27%。たかつえ▲65%、高畑▲55%、南郷▲38%（H18 vs R5）。R6年は近隣スキー場の閉鎖もあり現時点で昨対比130%の入込数で着地はおそらく8万人+。南会津町にこの交流人口を埋められる観光施設が他にあるか? P31スキー場における取引額だけでも、42,222千円の町内経済効果があり、さらにこれに加えて町内宿泊施設/飲食業/小売業/ガソリンスタンドなどへの経済効果もある。町は今回の素案に関し”大変なのでその効果までは把握していない”と回答。「地域への効果」は十分に理解されているのか? 「利益を出せない場合」 ⇒ ①の通り多くの施設がすでに赤字施設である。それぞれの施設で今後数年間の売上・利益目標を明確に定め、定期的に町民に公開してほしい。赤字の観光施設はそもそも観光施設として成り立っていないので、他目的とそれ見合った最適な投資で運用すべきである。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
116		方針案	⑨「指定管理者が無い場合」=>南郷スキー場は前指定管理者が黒字経営が難しいため期間内にギブアップしたところを無理やり補正予算を組んで現指定管理者に依頼している状態。また現指定管理者は指定管理料がないのであれば、次回の指定管理者に応募意向はなかった。第三セクターは、黒字化が難しい事業であっても町の意向に沿い指定管理者を続けることになるのか？ 上記素案に対しての問題点を挙げたが、そもそも町としての観光戦略が大前提としてあるべきではないか？本当に星空だけで人を呼び込むのか、もっと活用すべき資源はないのか、4地域を分断した考え方を持たずに、南会津町として限りある資源・ポテンシャルの高い素材を使ってどう人を呼び込むのかまずは包括的な議論が必要ではないか？近隣には日光・那須・大内宿・会津若松といった全国レベルの観光地がある。南会津にしかない差別化されたコンテンツでどう交流人口を増やしていくのか抜本的な議論を行い、選択と集中をしていく必要があるのではないか？
116		だいくらスキー場	②今後のスキー場の維持修繕費を考慮すれば=>これはすべての施設について同じ条件であり、中長期的に必要なとなる公費の削減可否をまずはすべて洗い出す必要がある。それらの作業をなしに、当初のロジ改修費5億円（現在は削除）を理由としたこの記載は、町が施設ごとに事業運営の最適化プランを検討もせずに、単純に数減らしを行っているだけに過ぎない。残された赤字経営の施設でまだ公費を使い続けるのか？ ・地元小中学校や保育園などのスキー教室=>田島地域だけでこの10年だけでのべ7,000人を超える児童たちが利用。田島保育園も年長クラスが複数回に渡りスキー教室を行っている。下郷町・天栄村・会津若松からもスキー教室の利用がある。 ・季節雇用=>P31だいくらは55名もの地域内季節雇用があり、農林業における通年安定雇用に大きな役割を果たしている。 ・スキー場燃料など町内経済=>P31だいくらは町内にもたらす経済効果が42,222千円と非常に高い。 ・宿泊事業者=>町は宿泊事業者への事前ヒアリングなど何も行っていない。スキー場併設ホテル閉鎖に伴い、週末満室その9割がスキー客の宿泊施設も。スキー場閉鎖による流入人口の激減が懸念される。 ・施設車整備=>地元事業者の夏場の収入源と理解しながら、事前ヒアリングなし。 ・スキー人口の減少=>P30全国のスキー人口減と連動せず、安定的に高い入込人数を誇るのがだいくら。地元から愛され、固定ファンが多いことがうかがえる。 =>事業そのものは黒字経営で、南会津町に多くの観光客を呼び寄せ、高い経済効果があり、地元の子供たちの重要な冬期間の冬遊びの場となっているだいくらスキー場。この施設だけ「一般財源の削減に努める」役割を担わせ、中長期的な活用方法を見出していない町の方針は本当に正しいのか？収益性を伴う観光施設の最適化がそもそもの目的ではないのか？

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
116		だいくらスキー場	【疑問】 だいくらスキー場にしか出来ない集客、魅力を十分に理解できているか？ 診断受託者のまとめでは会津田島駅・道の駅田島・たかつえエリアの3箇所を中長期的な投資対象としているが、そもそもの分析観点が関東県内からの交流人口のみを対象としており、県内他地域からの利用者観点が抜けている。（レポートによると、関東圏からの交流人口は平均約2,000人/月に対して、県内からの交流人口は平均約10,000人/月） ※2022年休日14時データ 羽鳥湖スキー場の休止、マウントジーンズ那須の閉鎖により、白河・那須方面から多くの流入がある。これらの流入は道路状況のよい甲子道路を活用したものであり、たかつえスキー場への代替とならない。多くの新規ユーザーが「だいくらの雪質の良さ、コースの多様性」を高く評価しており、リピートに繋がっている。今後もこのエリアからの集客を強める機会がある。 那須甲子自然少年の家からの教育旅行も今期より4,400人の来場がある。こういった機会を積極的に取りにいかねば交流人口の減少は加速化する。 だいくらスキー場はねとらぼ「東北地方人気のスキー場ランキング」で蔵王温泉スキー場に続き第二位。ハード面での評価が非常に高く、プロモーションを強化すれば集客をさらに伸ばすことができる。 => 南会津町の玄関口である田島地域において、どのように他地域から積極的に人を連れてくるか？滞在してもらい、お金を使ってもらうか？十分な視点がない。単なるコスト削減だけで施設を見ては、人口減の町に「人を連れてくる」ことが出来なくなり、衰退は加速化する。 議会全員協議会を経て1月に提示された新たな素案は「民間参入歓迎」「廃止の文言は削除する」というような言葉遊びに過ぎず、町民と共に再建に努力することに対する姿勢は欠落している。最初から「数減らし」が目的で、町の資産を活かした将来設計・効果検証の期間がない。町の将来に対する不安が広がっている。
116		南郷スキー場	①南郷スキー場だけが「定住促進の拠点」であっていいのか？「南会津町の人口増」のために田島地域を除いた移住・定住促進で人口は増えるのか？。抜本的な移住・定住促進案がきちんと検討されるべきではないか？わざわざこの町に「iターン」で来る人達のニーズ・特性を十分に理解しているか？ 本当にトマト農家だけが南会津町の移住促進ベスト戦略なのか？ 町の中心地からわざわざ離れ、医療体制も厳しい、教育環境も厳しい地域を、南会津町の「移住促進地域」に設定する、その論理を理解するのは難しい。本気で人を連れてくるつもりがあるならば、他にどんな方法があるのか徹底的に直近の移住者からヒアリングを行い、ビジョンをもった移住戦略を立ててほしい。南郷スキー場の公費負担見込みは今後5年で1億5千万。一人移住してもらうのにどれだけコストを使うつもりなのか？ トマト農家の福利厚生・冬季雇用施設としての役割に振替え、運営をJA管轄にするなど、徹底的にトマト産業で地域が回る仕組みを作るくらいの姿勢でこの提案をすべき。観光施設の見直しをしている中で、この論理で施設維持を提案する町の姿勢が理解できない。赤字施設で第三セクターでさえ運営拒否をしてきた過去がある。iターンしてくるトマト農家が最優先のこのロジックを現町民がどれだけ受け入れられるのか？少なくとも有権者の過半数が納得するロジックを提示してほしい。公費削減議論がまともに行われているとは思えない。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
116		町有宿泊施設	町の観光戦略において、町が所有する宿泊施設の役割を再度明確化してほしい。 宿泊施設が目的で観光に来る人を作るのであれば、それ相当の施設と運営スキルが必要で、それは南会津町の強みではない。他の観光コンテンツに人を呼び込むために宿泊施設がどうしても必要で、企業誘致ができないから仕方がないので町で運営する、という流れならば一定の理論は通る。しかしながら、それらを南郷・伊南地域に点在させては、観光コンテンツとの結びつきが十分でない。町の主要な観光コンテンツは何なのか？そこに人を呼び込み滞在させる仕組みをどう描くのか？そのうえで適切な場所に適切な価格帯の宿泊施設を開発する、という流れが理想ではないのか？すでに巨額の投資をしてしまった以上、あとには引けない。であれば、宿泊施設自体をさらに差別化し、高価格帯で的確な運営者に任せることで、赤字を解消するのがまずは第一段階。そのうえで、公費投資分は他観光コンテンツや地域経済への効果を作り上げる仕組みを強化する必要がある。
116		山村道場	診断受託者のSWOT分析を参考にすると、すぐに取りれる改善アクションが多く、条例と運営会社が問題で新たな取り組みができないのではないかと感じた。隣接する奥会津博物館の藍染や古民家は非常にユニークな資源で、これらは「観光資源」として定義されていない現状にも疑問を感じる。2月にレポートのあった南会津地方振興局R6年度南会津地域観光客実態WEB調査業務を参考にすると藍染の興味度と認知度のGAP値は非常に高く、こういった体験コンテンツ、しかも非常にユニークな古民家体験で行えることは、ともすれば大内宿のようなインパウント誘致も考えられる。山村道場自体の建物の価値、コロナ禍から続くアウトドア人気、まだまだできることがあると思うので、この施設の活かし方を十分に検討してほしい。
116		たかつえカントリークラブ	公費削減のための観光施設の見直しを行っていると理解しているが、損益分岐点を大きく下回る売上（P26）、診断受託者のレポート（P345）を見ても指定管理料をいれても恒常的な赤字。利用者の36％が南会津町民（H27年度）で県外客の減少による外貨獲得能力は減少している。たかつえ友の会の会員制度実績からも当施設が南会津町民を中心とした地域住民の福利に供する目的である一方、きわめて一部の地域住民にしかその目的・効果が届いていない、という指摘は最もと言える。安価な地域顧客だけでは売り上げは伸ばせないが、県外客の誘客には立地上の不利を凌駕する価値を訴求するための投資はできない。施設の存在意義、目的、ターゲットとする顧客を明確にすることなく、成り行きにて運営してきたことが最大の窮境要因。 ゴルフユーザーはゴルフ目的でくるのでこの施策は有効ではない。「セグウェイ」は差別化にならない。ゴルフユーザーはゴルフをしにくる。わざわざ投資してもその有効性は低い。選択と集中は戦略の原則。冬期間わざわざ人件費・販促費をかけるなら、スキー場に集中して企画を実施したほうが経済合理性が高い。首都圏のゴルフ部がある高校の数の確認とその誘致成功可能性を現実的に検討してみたか？わざわざ高校からお金のかかるゴルフをさせる家庭はどんな合宿を望んでいるか想像はできているか？継続するために0にするのではなく、継続の最低条件が0の上での利益捻出。芝の張替えはコストだけがかかり、誘客にはつながらない。この施設そのものに公費をかける意味を再度問いたい。H17年の東武鉄道会社との覚書というしがらみをいつまで後世に残すつもりでいるのか？東日本大地震、コロナ、H17年からここまで世界が変わる事象が起きている。短期的な視点にとらわれずに抜本的な公費削減のために正しい判断をしてほしい。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
117		だいくらスキー場	だいくらスキー場の閉鎖について、意見を述べさせていただきます。町の財政状況から、閉鎖するスキー場と残すスキー場が分けられるのは理解できるのですが、だいくらを閉鎖し、南郷を残す理由がいまいち分かりません。田島の新町で生活していて、冬の時期は関東ナンバーのスキーヤーの車がセブンイレブン新町店の駐車場に多くなるのが毎年の光景です。関東方面からのスキーヤーは糸沢の作道の交差点で、たかつえ方面とだいくら、南郷方面に分かれると思います。近年、たかつえの集客数が伸びていると聞きますので、たかつえを残すというのは納得できます。もう一方のだいくら、南郷方面において、距離的に近いだいくらをなくし、遠くの南郷を残す理由が見えてきません。厳しい町の財政の中、選択と集中が行われるのは仕方がないと思います。そうであるからこそ、選択と集中に納得のいく答えを提示していただきたいと思います。以上、よろしくお願いします。
118		だいくらスキー場	だいくらスキー場について タウンミーティングからも南会津町の財政は厳しいことは伝わっています。そのため、私たちの税金がさらに有効活用されるための議論を沢山したいです。今後、「閉鎖になるのか！と言う苦しい思い」を希望に変える議論を望みます。これまでのタウンミーティングでは「この苦しい思い」から始まりました。「この方針でいきたい」という説明のあと、何度質問しても、回答は案を読み上げる機械的なものが多く、会場は希望がない雰囲気と感じました。しかし、5回目のタウンミーティングでは、「案の修正はある、期待していいです」、そして議会での一般質問への答弁では「閉鎖案を修正する。若者がスキー場を未来へ繋ぐために活動している。町の未来を考えている事に敬意を表する。活動が未来をつくっている。裏切らない（恥じない）形で方針をまとめる」との答弁がありました。マニュアル通りでない発言があり、質問に対し準備した回答でなく「心」ある言葉を聞きました。 ◆継続する。と案を修正ください。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
118		だいくらスキー場	◎だいくらスキー場を残したい○だいくらスキー場は周辺スキー場の閉鎖ならびに教育団体旅行の流入により、売上・収入・人数ともに昨年比を上回っています。今後のマイナスの目標・評価（小雪、スキー人口減少）をプラスにしなければ！町の中心部にあるだいくらスキー場は交通の便も良い。児童生徒の数が一番多い。学校教育、家庭教育・社会教育としての役割大きい。○観光面ではリピータへのアプローチを強化したい。「スキー人口が減少の中」というマイナスの目標はやめる文言に変えたい。スキー場で取材するとリピータが多いことがわかります。オープンから訪れているスキーヤーは孫も連れてきています。取材を続け声をかけ、情報を収集する部隊を作る。（社員＋ボランティア）自身にとっても孫を連れていく「近場の、そしてホームスキー場」です。○町内出身者より感想・スキーをしたことで大学に行ってから友人を連れてきた。これからも行いたい。・スキー競技では速く無くいつも下位だったが、指導者に声をかけてもらい頑張ることができた。出来る選手だけでなく、自分も見てもらえることを理解した。相手を思う発言など現在の職業に役立っている。○農業振興や定住促進に関すること南会津町は南郷トマトが町の一大産業と位置付けています。納得しています。とても良いことで、従事者も誇りを持ち取り組めると思います。スキー場がその産業に寄与していることも納得しています。だいくらを未来へつなぐ会のメンバーは、トマト農家ではありませんが半分以上がリターン者です。それぞれが事業を起こし運営できる貴重な人材です。トマト事業と同様、事業を盛り上げています。「スキー場を閉めたらここを離れます」という言葉は発していません。未来を考えています。また、田島地区にスキー場のあるライフスタイルに惹かれ移住・定住している人が多くいます。評価の対象になっていない。現場を知ってほしいと思います。このことだけでなくどんどん情報を上げる・聞く体制を作りたい。聞くことも勇気と思います。○白河方面からの誘客、教育旅行那須甲子自然の家から、千葉の中学校の教育旅行で4000人以上の子供たちが来ています。今後へ繋げたい。教育旅行はレンタルでも稼げる。稼ぐだけでなく子供たちの良い体験。スキー関係者の協力は期待できる。白河方面への一般の誘客広報の方法を考えたい。○方針案はデータで判断？訪れる人は関係ない？関係人口を大切に データを見てもだいくらスキー場を廃止（閉鎖）する理由が見当たらない。診断受託者の評価方法には、お客様の声が全くない、利益を出してもお金がかかると言う理由は、乱暴です。だいくらスキー場（ほかのスキー場も）を選んできてくれた人は、閉鎖を聞いたらどう思うか。心配、がっかり。周囲の経済効果も無くなる。大切に考え、町民から来場者の情報を得る聞く体制を作りこの場所の関係人口を大切にしたい。○公費を投入しなくても運営できると信じているか？
118		だいくらスキー場	P5②で7つ目まで良い理由。その後の文言で、閉鎖。そして公費を投入しなくても運営できる方法を見いだせなければ13年3月で閉鎖とあります。タウンミーティングでも疑問、不信感が高まりました。閉鎖や民間委託といったマイナスの発想では、目標定められない、希望がありません。やれる業者いればやってくださいという、なげやりな考えであると強く感じます。公費節約を探りながら、運営。経営に助言できる組織、プロジェクト立ち上げを目指してほしい。◆だいくらスキー場、公費投入を行い、継続する。公費は毎年節約を探る。変更してください。そして第三セクターを優良企業に！を応援したい。そのためには互いの情報を話す・交換する場も必要。
118		たかつえカントリークラブ	ゴルフ場について 赤字の施設。本当に公費と投入し継続？ 売却先のあてはあるのか？

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
118		会津山村道場	会津山村道場について ○設置目的を再設定とあるが、どのように？ ○キャンプは若者、ファミリーに人気 冬の休みは納得。冬、スキー客には予約制で営業の検討してはどうか
119		だいくらスキー場	いつもだいくらスキー場でスキーを楽しんでいます。特に雪質がいいです。センターハウスのごはんも美味しいです。なくさないでほしいです。
120		だいくらスキー場	なくさないで欲しい
121		だいくらスキー場	台鞍スキー場をなくさないで下さい
122		提案	天候関係なく子供が遊べる 室内施設 喜多方めごプラザみたいな施設 子育て世代 室内プール 冬に暖かい場所で運動できる 全年齢運動不足解消 スキー場のオフシーズン利用 白馬村のように スキー場をなくして、なくした地区の観光、雇用を現実的になにをするか？ 南郷、伊南、館岩に室内施設 小学校の体育館などの子供が遊べる施設
123		だいくらスキー場	だいくらスキー場を閉鎖するべきでは無い。町の財政負担が厳しいのも理解できますが、それなら1番負担の大きい高杖を民間に売ってそもそも町で始めた町民に愛されてるだいくらスキー場、南郷スキー場を残すべき。南郷スキー場のトマト農家のIUターンを擁護していますが、知り合いのトマト農家さんは、トマトで儲かって冬に働いてない方もいらっしゃいます。田島にも、たくさんのIターンは居ます。かすみ草農家や宿泊施設など…スキー場があるから戻ってきたUターンも居ます。それを無視できないと思います。私もIターン組です。自分の子供には雪と一緒にたくさんの経験をさせたくて、結婚を機にこっちに、移住しました。雪国にいて、スキーができない環境になってしまったら、こっちに来た意味がほぼほぼ無くなります。町外からもたくさんのお客様が来ていて、町にお金を落としてくれています。南会津町は観光の町ですよね？これが無くなってしまったら、南会津町の魅力がなくなります。だいくら、無くなったら高杖？南郷？に行くお客様がどれだけ居るのでしょうか？だいくらには、だいくらにしかない良さがあります。100%天然雪、4スキー場の中でも1番雪質も良く、北斜面でバーン状況も長持ちします。もう一度、だいくらの良さを考えてみてください。スキー場に置いてある応援ノートご覧になりましたか？泣けてくるメッセージばかりです。だいくらスキー場は愛されています。まだまだ、やれる事はあります。だいくらスキー場のポテンシャルを信じて未来につなげて下さい。
124		だいくらスキー場	子供の大事な遊び場です。最高の子育て環境の一つのスキー場をずっと残してください。お願いします！
125		4 スキー場	特異性のあった4 スキー場、たかつえは団体様に強く、高畑はスキー専用のゲレンデとして、南郷はハーフパイプのコースを設置、台鞍は大会コースとして利用大でありました。残念ながら少子高齢化の波、さまざまな世の中の変化にハードなものは対応に難儀なこともあり、他県ともこのようですが、ソフト面でも苦戦状態かと感じられます。スキー場ばかりではありません。人を引きつけるもの…食べること、休めること、何かに出会えることがあれば、人は動くものだと思います。南会津スキー場シーズン券として1人1万円でバンバン発券してみても如何でしょうか。どのスキー場でもです。月に1～2回出かけるだけでも満足と思います。75歳のおばあさんですが、誘われて本日もシーズン券で壮大な山々の雪景色に大満足でした。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
126		だいくらスキー場	冬期間以外の利用できる方法が必要であると思います。今までどのような利用方法、活動、企画を行っていたのでしょうか。その中の手応えのある利用方法、活動、企画があったのでしょうか。※急斜面はスポーツトレーニングの環境として魅力的な場所であると思います。急勾配のコースがあればより良いと思います。
127		だいくらスキー場	継続を希望します。
128		だいくらスキー場	ぼくはだいくらスキー場でたくさんお世話になっています。中学生のように、かつやくできる選手になりたいです。スキー場を残してください。
129		だいくらスキー場	町長様、大きな問題で大変でしょうが、これからの南会津町の為、頑張ってください。スキー場の皆さん楽しみにしています。
130		だいくらスキー場	子供達の遊び場や観光の場になっている「だいくらスキー場」を活用できるように検討願います。
131		だいくらスキー場	正義町長、大変な問題に取組み、ご苦労様です。若者の意見を聞いてくれる事を願い、町の明るい未来を願っています。だいくらスキー場、もっと良く出来ると思います。頑張れ。
132		だいくらスキー場	継続を希望します。
133		だいくらスキー場	今現在の負のところしか見ずに、これから未来に向けて出来る事を明るく楽しく考えていく事の方が、よい方向に向かって行けるかも。たとえば、冬だけの問題じゃなく、春から秋にかけて集客を考える事、自然を全面に出したスキー場の花畑とか（レンゲなど）日本ミツバチでその花に利用したハチミツを作り、販売するなど付加価値をつける。ワラビを植えてワラビ山にして、そのワラビで加工品を作り販売とか、それによって雇用も生まれるのではと思っています。ぜひ、皆の考えを聞いて、いろんなアイデアを出してもらい、前を向いて行きましょう。一度なくしたらもう二度出来ないです!!
134		だいくらスキー場	お金の問題があるのは分かっていますが、やはりだいくらはのこした方がいいと思います。だいくらはここからは一番近いスキー場で、とてもいきやすく、コースもほうふで、初心者から上きゅう者まで楽しめるスキー場だと思っています。さらにだいくらは2023年3月の時点でのあるじょうほうによると、東北地方の人気スキー場ランキングで、ざおうスキー場につづけて2位となっています。ほかのサイトでは東北の60以上のスキー場で12位と、上位になっているじょうほうもあります。そして、だいくらは雪しつが南会津の4スキー場で、最もよいというじょうほうもあります。このような理由から、だいくらは残した方がいいと思います。いつもわたしがスキー場に行くときは、リフトになかなかのれないくらい人がいるので、なくされたらこまります。
135		だいくらスキー場	3さいからはじめました。だいくらだいすきなので、なくさないでください。
136		町有観光施設	町有観光施設の目的と活動内容が知りたい。実践も。売上が上がる工夫点と概要の内容次第だと思いますが、どのくらいの収益があると事業として成り立っていくのかが分かりにくい。立地条件によっては区画の貸出で賃貸収入（ポップアップストア・広告）、その利用された方の促進と再びストアを展開していただく等。町での所有を続けたいのか？売買してしまいたいのか？
137		だいくらスキー場	①パラグライダー②キャンプ③キッチンカーフェス④そば畑（リフトからそば畑まで見れて、そばも食べられる、そば打体験など）⑤星をみる、あるものをどう活かすか。 だいくらスキー場以外・・・共同の畑の貸し出し。生ゴミコンポスト設置。野菜を作る楽しみ、生きがい。地酒のアピールを町全体でする。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
138		だいくらスキー場	スキー場の夏場は自然がいっぱいだし花など植え、目でも楽しませ、レストランは地元食材の料理を提供し、県外、地元の憩いの場にしたらどうでしょうか。年寄りにはスキーにはいけないしシーズン券を買ってあげるのも一つかと思いました。 駅の売店を地元野菜やお酒のコーナーを片すみではなくもっと魅力的に展示した方が良いでしょう。 このミーティングに参加し、いろんな人の意見を聞いた事大変良かったです。田島は何も無い所と思っていましたが、自分が何も知らない事に気付かされました。
139		だいくらスキー場	くららちゃんのコースがおもしろいです。なくさないでください。
140		町の姿勢	平成の町村合併当初からの懸案事項に対し、一つの答えを出す決断をしたことは「大英断」と言えることであった。しかし、その後なし崩し的に修正に修正を重ねてしまったことは、行政への不信感を招き、今後の新たな取組を阻害してしまう恐れがある。 1 現状の様な反発を生むことは容易に想像されることであったが、素案作成にあたった職員及び決断した執行部は、町のことを本当に理解しているのか疑問に思う。2 今後の方針を決める前に、現管理体制の検証と反省が必要である。3 「施設をなくすことではなく、公費負担を減らすことが目的」と再三再四説明していたが、方針（案）資料はその目的に沿ったつくりになっているようには見えない。4 このような資料を作って是としてしまっている職員の能力不足を疑う。5 そんな資料の公表を認め、ちょっと反対されただけで当初案を修正してしまう執行部は、実はこのことを真剣に考えてはいないのだろうと思ってしまう。
140		町の姿勢	1 受託者がいないのは理由（利益を出せない）があるからで、委託料を上げて再募集したり、他の施設と抱き合わせで委託するのは不適切。2 受託者がいないときに「最後は第三セクター」で大丈夫なのか。●経営努力しているのか疑問。・赤字になれば「町が出してくれる」と言う体制が染みついている。●経営陣及び社員の意識が低い。・仕事をしてもしなくても給料はもらえる・転勤を拒否する社員がいる（所長クラス）・コロナが怖いので、社員任せで現場には一回も顔を出さなかった経営陣・仕事を拒否する社員がいる（スキー場の芝刈はいやだ）・南会津を知らない（観光案内が出来ない）※これは噂話を含むが、「これくらいの意識の社員がいる」ということ●町民（町議さえも）第三セクターのことを良く知らない。●16施設中10施設を受託している第三セクターからの反省と改善策がない状態で、「今後の方針を決定できる町の体制」をどう理解して良いのか理解できない。これが出来る職員がいるなら、すぐさま第三セクターに出向して経営改善に努めてもらうべきだ。
140		方針	町長の説明を基にするならば、ここに「町財政負担の軽減だけでなく、、、」ではなく、「公費負担削減を一番の目的」と明記すべきだ。（1）基本的な方針の①設置目的に沿った運営とあるが、観光施設のメインであるスキー場設置の目的は、当初は「冬期間の出稼ぎ対策」だったが、現在はその目的は達成され、新たな目的として「若者の定住と雇用対策」をメインとすべきであろう。それならば、季節雇用じゃなく正規雇用をメインにすべきであり、その目的があるから、町が施設を維持するために公費負担しても許されるのだ。派遣社員を受け入れるのではなく、人材を育成・派遣する側になるべきだ。またそう言うメインの施設と、その施設利用者の利便性を図る施設とは分けて考えるべきであり、設置目的をもう一度深く考えるべきだ。②や⑦、⑨は指定管理者制度の基本で、これが守られてこなかったから問題なのだ。③民間のノウハウを活かして管理運営してもらい、サービスの向上や公費負担を減らすのが指定管理者制度の本来の目的で、収入が見込めない施設の管理は、違う契約を結ぶべきだろう。④支出額の縮減とは何のことだろう。観光施設は収益が見込める施設のはずで、本来管理料0円で契約するべきだ。また、支出額の縮小をはかるのは受託者の仕事だ。⑤「町財政負担を軽減し、、、」は目的であり、方針ではない。⑥民間主導で管理運営する為の方法が指定管理者制度だったはず。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
140		たかつえスキー場	1「公費負担削減を一番の目的」とするなら、他のスキー場の倍以上の公費負担がある「たかつえスキー場」が1番最初に存続の検討対象にするべきだ。そして検討するために「スキー場の設置目的の再検討」と「目的達成の成果評価」をさきになさなければならないはずだが、それが無い。2方針理由の最初に10年前（平成27年度）の第三セクター評価委員会からの提言・提案書を引き合いにだし・昔は20万人も来て県内でも有数のすばらしいスキー場だった。（だから存続させます。）ってなぜ今、10年前の提案書を参考にするのか理解できない。（今の状況は10年前の提言を無視したのか？10年前提言を参考にして失敗したのか？どっち？）3方針理由の2番目に・さいたま市をはじめ都市交流の一翼をになっている。（だから存続させます。）って言うことは、さいたま市の為に存続させます。ということだろうか。交流人口を増やすことは手段であって、存続の理由ではない。4最後に、施設継続のために、指定管理者へ4項目の提案（他のスキー場にはしない）をし、以後・町としてアドバイスする。とあるが、指定管理者制度の根本を理解していない。町が管理出来ないから民間のノウハウをいかして、経費削減や収益増を図るのが指定管理者制度ではないのか。これで改善されるのなら、指定管理を止めて公設公営で管理運営すべきだ。
140		だいくらスキー場	1修正に修正を重ねて、結局どうなっているのか分からない。町長答弁「方針（案）の様には進められないと考えている。」と言うことを参考にすれば・現状のまま指定管理者制度を継続し、令和13年度以降も公費負担して存続させる。・大規模改修は、必要ならば公費負担で実施する。と言うことになる。きちんと名言すべきだ。2本々の方針では、民間主導で管理運営するのが指定管理者制度の本質であることを理解していないし、指定管理者制度以外の方法とは何かを示していないのは不適切だ。3明確な方針を示していないので、方針理由も明確さに欠けている。（真剣に考えていないから）・スキー場が無くなると困る理由・スキー場のおかげで経営が成り立っている企業の多さ・スキー場冬期雇用が通年での安定した雇用を担保している・近隣スキー場の閉鎖で、今後数年は期待できる。等々、存続すべき理由の羅列になっているので、結局何の方針理由なのか分からない（これも、ちゃんと考えていないことの表れだ）4これでは拙いと思ったのか、方針理由の最後に・施設の老朽化は喫緊の課題で、R7年度以降毎年3000万円以上の修繕費がかかる。と、さも、だいくらスキー場だけのことの様に指摘しているが、当然他のスキー場でも同様の修繕費がかかり、たかつえスキー場では5000万円以上修繕費が毎年見込まれるのを指摘しない。5五億円の修繕費はどこに消えたのか。結局喫緊の事ではなく、潰すための理由づけに過ぎず、圧雪車の経費2000万円も、まるで、だいくらだけかかる様な報道は意図的なものを感じる。
140		南郷スキー場	1方針は、農業振興及び定住促進の拠点として継続とある。2方針理由に挙げた項目はある程度納得できるものだけれど、「若者の移住定住促進に大きく貢献している」のは南郷スキー場に限った事では無い。・宿泊施設の移住者は他のスキー場は多く、南郷では少ない。（29ページ）・南郷トマト生産者のU・Iターン率は、確かに南郷が多く、南郷スキー場と共存している。それは理解できる。しかし、他の地区のアスパラ農家や米農家、カスミソウやリンドウの生産農家との比較データが無ければ、南郷スキー場だけ特異的に農家と共存していると言い難い。・重要なのはトマト農家の数や移住者の数ではなく、その中で季節雇用のうちの町民の数だ。33ページで分かることは、・南郷スキー場の季節雇用町民39人、町外9人、計48人中トマト生産者29人、トマト生産者のうち町民のトマト生産者は20～29人のいずれか・たかつえスキー場の季節雇用町民のうち農家は0～41人のいずれか・だいくらスキー場の季節雇用町民のうち農家は0～51人のいずれか・高畑スキー場の季節雇用町民のうち農家は0～27人のいずれか、このデータをみて南郷スキー場だけが特異的に農家と共存していると判断するには無理がある。※このページを見ると方針が先にあって、その理由を捜して羅列している様に見える。3. 7ページで、八十里越え開通による交流人口の増加とあるが、スキー場の検証には不適説、冬期間通行止めのはず。（南会津のことを知らなさすぎる）

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
140		高畑スキー場	1 町の方針は、だいくらスキー場同様、指定管理者制度の本質を理解していない表現で不適切・指定管理者制度以外の方法があるならそれを明記すべきだ。他の施設についても言えることだが、・町が一番先に示すべき理由が「これ以上公費負担は出来ない」であるのなら・町の方針は簡潔に「13年度以降公費負担はしない」で良い。2 方針理由を色々並べているが、4 スキー場の中で一番条件が悪いことは分かっていること。条件の悪さを並べても意味はない。3 地域おこし協力隊には、3 年間で1 人あたり1000万円を出している。町は公費負担0 円を目指しているが、町民の雇用創出、移住定住につながるなら、公費負担を許容できるはずだ。正社員1 人で管理するのではなく、5 人10人と増やす工夫をすべきだろう。4 方針（案）では今後5 年の公費負担年間2300万円は確保できるようだ。これを有効に活用しながら、その後もいくらかの交付負担は許容される体制を目指すべき。
140		星の郷ホテル 花木の宿 道の駅たじま 道の駅きらら2 8 9 道の駅番屋 ふるさと物産館 そば処曲家 館岩広域観光案内所 ステーションプラザ 憩の家 たかつえカントリークラブ 山村道場	1 町が公費負担をしても許されるのは、町民の雇用を確保しているからだ。公費負担額同様、その他の施設の雇用情報も重要だ。2 普通、建物があって、そこで商売をする場合は、家賃を払って商売をする。設備投資や修繕は商売をする側が自腹でやるのが当たり前だ。なぜ修繕費や備品購入費等を町が払う必要があるのか。当然委託料0 円 ・星の郷ホテル「15億円かけたばかりだから」は考慮するべきではない。赤字の施設を残すために赤字を重ねることになりかねない。公共宿泊施設の是非を再検討すべきだ。・花木の宿、同様に公共宿泊施設の是非、公設温泉施設のあるべき形態を再検討すべきだ。・道の駅たじま・道の駅きらら289・ふるさと物産館・道の駅番屋（冬期閉鎖したらそば処曲屋の受け皿になれない）、この7施設は、民間ならば普通に家賃をもらうべき施設だ。・広域観光案内所、商工会から家賃徴収、もしくは買い取ってもらう。・ステーションプラザ、食堂・売店は家賃徴収、第三セクター事務所も家賃徴収、観光案内所はあいづ鉄道へ委託・憩の家、食堂は家賃徴収、食堂以外はあいづ鉄道か野岩鉄道委託、食堂閉鎖なら自販機設置業者募集（使用料徴収）・たかつえカントリークラブ、スキー場からの派遣社員の受け皿として最適、経営改善必須、委託料も0 円を目指す。・山村道場、体育館及び旧校舎は振興公社もしくはスポーツクラブ委託、経営改善必須、改善が見込まれない場合は宿泊等は売却、キャンプ場は委託。
140		方針案	今後を考える上で、有用なデータだと思うが、そのデータからの考察が不足している。①19ページ交付負担削減が第1の目的なら、公費負担額と構成比1位たかつえスキー場年6600万円、②20ページ今後の修繕費1位たかつえスキー場年5600万円③経費に要する実績ってなんだろう？経費実績なら予算も併記しないと意味は無い。その1位たかつえカントリークラブ年2100万円、指定管理料1位山村道場年10200万円、1億だよ④22、23ページ売上高と交付負担比率1位館岩広域観光案内所過去5年計で171.6%超赤字コスパ最低、ただし、公費負担額に指定管理料が含まれているかは不明。その場合順位は変わる⑤29ページ南郷の宿泊施設が少ない⑥31、33ページ各スキー場の関係企業データ、雇用社員データは重要。今後先送りされた取捨選択は将来必ず必要になるので、その決定の判断材料になる。・たかつえスキー場の町民雇用割合が少ない・町民雇用数はだいくらが一番多い・南郷、高畑は正社員1人で管理運営しているけど、それで良いのか・町の金を使って他町村の人雇用しているなんておかしいetc

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
141		だいくらスキー場	私たちは農業と農産物加工を行う会社を運営しています。田部の農家に嫁ぎ44年間。がむしゃらに食べていくために、子供を育てる為に頑張ってきました。自分が歩んできた道を振り返ると本当に様々な事があったと感じます。自然災害に会い、奈落の底に落とされる異様な経験もしてきました。しかし、どんな時も前を向き淡々と歩き続ける主人の姿を励みに、土にまみれながら一步一步あるって来た44年間です。栽培品目も出荷形態も、その時代に合わせたものにしてきました。文章で書くと簡単に思えますが、栽培技術の習得、設備投資、販路の確保など本当に大変な事が多かったです。住民説明会で財政状況の説明などお聞きしました。人口減、少子高齢化など様々な問題があることを再認識し、町有施設の見直しと公費削減の取組の必要性も感じました。それと同時に、町は今まで何をしていたの？という疑念がうまれたのが正直なところ。大きな組織は動きが遅くなる事は容易に想像できます。しかし、40年間です。様々な言い訳もあるでしょう。しかし、私たちの様な民間企業は時代の変化に対応できなければ消えて無くなります。「変化できない言い訳」なんて存在しないのです。
141		だいくらスキー場	だいくら、高畑だけに公費削減のメスを入れるのではなく、全施設の見直しを行い、その施設の存在価値に合わせた公費削減を切に願います。長年、農業を通し多くのお客様とかかわってきましたが、お客様が来なくなれば終わりです。観光施設を減らし、お客様が減った分の代替案が無い。これから考える。という町の回答もありましたが、愕然としました。だいくらスキー場は町の玄関口にあるスキー場で、昨シーズンと今シーズンはお客様の入りがよいのでは？と孫の送迎をしながら感じていました。駐車場には関東ナンバーの車が多く、どうしてだいくらまで来てくれるのかな？どうしたらもっときてくれるのかな？こんなお客様がいるなら、こんなことあんなことをすれば稼げるかな？などいつもの癖で考えてしまいました。どうか町民目線、現場目線での行政改革をお願いします。現場を見ないと良い方向には進みません。 今まで先送りされてきた問題に渡部町長がメスを入れられました。非常に難しい問題で様々な批判もあったと想像します。私も今回の方針案の決定プロセスには疑問、不安が多々あります。しかし、そこにあえて立ち向かう姿に感謝の思いでいっぱいです。頑張ってください！！少子高齢化・人口減少・・・でも、なんか魅力ある町だよねと若い世代が思えるような未来がある事を願っています。
142		だいくらスキー場	だいくらスキー場を閉鎖する必要性がわかりません。冬季雇用者も町内雇用者数、割合ともに最も高い中において田島地域の人口割合にして約7割、子育て世帯数も最も多い町内小中学校のスキー教室以外にも近隣市町村の教育利用も多数、若松、下郷、白河方面からの来場者も多く県外より教育旅行が来場している。だいくらスキー場の閉鎖は絶対反対です。
143		だいくらスキー場	施設廃止ありきの素案については反対です。基本的な方針③の通り将来に繋げられる期待される施設であります。地区民の中にも多彩な知恵を持っている人がいっぱいいます。これから新たな出発として行政、町民が一緒になって問題を解決できると思います。日本はインバウンドで潤っています。まずはトップセールスでこの波にのりましょう。住民生活本位で。
144		だいくらスキー場	ぼくは、ようち園のころからスキーが大好きでした。なぜかというぼくの家からいちばん近いスキー場ですし、雪しつもととてもよく、とくにリフトとうばんのおじさんたちがいい人でそれも大好きなひとつです。今は4年生で台くらHUUEチームに入って2年たちました。けれどもぼくのかだいはとてもあります。その中でいつも練習しているのが台くらスキー場です。だからぼくのすきな台くらスキー場をなくさないでください。ぼくの大好きな台くらスキー場です。
145		だいくらスキー場	わたしはジュニアにはいっています。だかられんしゅうができないので、だいくらをなくさないでください。わたしはだいくらスキー場が大すぎて、大すぎてたまらないくらいだいくらがすきでした!!!!

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
146		だいくらスキー場	ぼくは今、スキーのチームに入ってスキーをしています。いつも、練習する場所をかしてくださっているだいくらスキー場や教えてくださったコーチのおかげで全国大会に出場することができました。ぼくの夢は、だいくらスキー場でスキーチームのコーチになって未来の子ども達に教えることです。ぼくの大好きなだいくらスキー場です。
147		だいくらスキー場	だいくら山スキー場が小さい頃に行っているスキー場です。はじめてスキーをすべれるようになったおもしろい場所です。いろいろなコースがあって楽しいです。スノボやスキー、あそび場もあってみんなが楽しめます。わたしはこのだいくら山スキー場が大好きです。ずっとこのこしてほしいです。
148		だいくらスキー場	「だいくらスキー場閉鎖」の素案提示による、各資料に記載されている内容の数字から見れば「南郷スキー場」を残して「だいくらスキー場」を閉鎖する方向性はおかしい、と感じた。町は閉鎖ありきで事を進めているように見えるが、シーズン期間中7万人近くの入場者が有る「だいくらスキー場」は南会津町の地域産業である。「だいくらスキー場」存続に向けて多くの住民の目が向いている今こそ“官民一体”となって地域の魅力を見出し、スキーやスノーボードを楽しむ人以外（スキー等をしない人）にも来ていただける仕掛けづくりにより、冬期以外にも来町したくなる様な「まちづくり」に向け「だいくらスキー場」活性化の為に話し合いが必要であるとする。私もスキーを楽しんで来た身からして「だいくらスキー場」は利便性も良く、コースも初級者から上級者まで楽しめる良いスキー場と思う。
149		だいくらスキー場	4点についてのデータや可能性をもっと検討すべきである。単なるコスト削減だけで閉鎖の方向へもって行くのは短絡的である。だいくらスキー場の近くには天文台があり、星の観察は、夏・冬問わず楽しむことが出来る。スキー場を活用して星を楽しむことやキャンプ等、スキーばかり目をむけず、夏場の魅力も発信して集客に工夫が必要である。町民の力をかりてスキー場を花畑にするとか、アイデアを町民に募って町民の意識を高めていくことも必要であると思います。クラウドファンディング等の活用も視野に入れ、永続的な施設の活用ができる様、話し合い計画して欲しいと思います。
150		だいくらスキー場	閉鎖と言う事の方方向性ではなく、どうしたら年間通して集客出来るか。町民が存続に向けて立ち上がっている。今、地域のアイデアを出し合い町づくりを考える時では、ないでしょうか。駐車場からすぐゲレンデがあり、リフトに乗って滑る事が出来るスキー場で利便性が良く、コース的にも初級者から上級者まで利用出来る、何よりも雪質も最高です。7万人近くの入場者がある、だいくらスキー場を閉鎖するのではなく存続に向けて考えるべきではないでしょうか。天文台があり、きれいな星を見る事も出来ます。
151		だいくらスキー場	存続を希望します。
152		だいくらスキー場	十数年だいくらスキー場の冬期従業員として働かせてもらっています。子供が孫が帰ってくる時は、かならずスキー場を利用しています。残してほしいです。
153		だいくらスキー場	（だいくらスキー場勤務）町民のためにも残してほしいです。
154		だいくらスキー場	町民のためにも残してほしいです。
155		だいくらスキー場	常連客が多いので残して欲しい。
156		だいくらスキー場	南会津町にあるスキー場がなくなると子供達のスキー教室また県外からのお客様もこのだいくらの雪が大好きで来るお客様もたくさんいるので、なくしたくないのと、私事ではありますが年金暮らしの中スキー場での働きは、大変生活費に助かっているので、職場も失うのは、大変ですので、続けてほしいです。

No.	意見箇所		意見内容
	方針案	施設名	
157		だいくらスキー場	だいくらスキー場の雪質が大好きで毎年通ってくれている県外、県内の方が沢山居ます。毎週毎週通ってくれている方、シーズン中何十回も来てくれる方に「このスキー場を無くさないで！！」と今シーズン何回も言われました。このスキー場が無くなったら、町内のスキー教室はどうするのですか？このスキー場が無くなったら南会津町の魅力がどんどん減ってしまいます。
158		だいくらスキー場	だいくらスキー場なくなったら、冬のたのしみで来ていたお客さん達が悲しみます（働く所がなくなってしまう）南会津町明るく笑顔にしたい
159		だいくらスキー場	若者定着がなくなり、老人ばかりが残り、子供の増加が望めなくなる。町の名所がなくなれば外からのお客がなく商業施設にも影響する。住みやすい町にするには施設を多くするべきかと思います。
160		だいくらスキー場	P31で（10）町内スキー場の町内における効果の欄で、町内にもたらす経済効果及び利用者数では、たかつえ、だいくら、南郷、高畑の順になっております。又、人材派遣数ではたかつえ、が64人も雇用しており、地元への効果には薄いと考えております。P31の一覧表を比べてP3の外部評価でだいくらと高畑は令和8年3月末で売却が廃止の評価であり、南郷は2024-2025の収支状況次第で廃止となっているが、南郷も、だいくら、高畑、同様な文言で良かったのではないかと、なぜ文言が違うのか外部評価に疑問を生じております。又、町はだいくらと高畑は令和13年度以降、民間主導による運営を方向性が見いだせれば、指定管理以外の方法で施設を継続（民間主導がなければ閉鎖）の方針で、たかつえ、は町の観光施設の核として、南郷は農業振興及び定住促進として継続する方針としています。
160		だいくらスキー場	合併による1つの町に4つのスキー場の施設修繕等の維持管理経費が将来的に大きな財政負担が危惧されることで、以前から施設の在り方について検討して来ていますが具体的には方針が出されておりました。今回、町は外部評価を傘に、施設の在り方の方針を住民に初めて説明され2施設を継続、2施設を閉鎖等の方針をだしましたが、今後の財政負担の軽減には各スキー場がどの様な改善を運営すれば良いか外部評価を参考に地域住民と検討する事がまず先行すべきではなかったのかと考えます。各スキー場とも同じテーブルで数年後たとえば5年後にその結果により、継続か売却とかの方針検討をすることでも良かったと考えます。たかつえ、南郷も同じテーブルで今後の方針を出すべきです。又、今後の財政負担の軽減を考えるなら、各スキー場の規模を縮小する検討も必要ではないかと考えます。P29で圧雪車、たかつえ6台、だいくら3台、南郷4台、高畑3台ありますが、それぞれ、各スキーの規模を縮小することで、それぞれ台数を減らすことで町財政負担の軽減になると考えます。同じくリフトの規模縮小で将来に渡るスキー維持管理経費の軽減につなぐことになると考えます。
160		町の姿勢	5回に渡るタウンミーティングを終え、6月には方針の結論をする説明の中で、3月の補正予算で南郷スキー場の圧雪車の購入予算計上は、スキー場の今後の方針がまだ固まっていない中、又、スキーシーズンが終了する時期になぜ今なのか、田島地域住民は町の今後の方針決定に注目している最中に拙速と疑問が生じております。
160		だいくらスキー場 高畑スキー場	借地についてだいくら、高畑のスキー場の一部は借地契約によりスキー場建設をしているが、これまでの町の方針案を住民に公表する前に地主側に丁寧な説明があったのか？閉鎖の方針に際してスキー場建設前の原型復旧に掛かる経費等は算出しているのか？
160		だいくらスキー場	町では、令和7年の指定管理者公募のため時間がなく今回の町の方針となったとの説明であります。入込数が少ない施設を残し、入込数がそれなりにありP5のだいくらは7項目の説明では他のスキー場と比べ廃止する理由は見当たりません。むしろ優秀なスキー場とも捉えます。なぜ廃止なのかますます疑問と考えます。
160		南郷スキー場	南郷スキー場にはこれまで指定管理受託者が撤退した経緯があります。様々要因があると考えますが、最古のスキー場で今後リフトの更新時期が過ぎていると考えますが今後莫大な維持管理経費が掛かることを待ち理解して現状のままでの継続を考えているのか？